Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

はじめに
準備
基本操作
聞く
録音する
編集
タイマーを使う
便利な機能
知っておいてほしいこと

マイクロコンポーネントMDシステム

型名 UX-QM7-S/-W

デモ表示について（初めてお使いになるとき）

本機にはデモ表示機能が用意されています。
電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓に本機の特長や機能などを表示するデモ表示が自動的に始まります。ご使用前に以下の操作をしてデモ表示が出ないようにしてください。

電源が「**切**」のとき、本体の ■ DEMO を長押しします。

「DEMO CLEAR」が表示されます。
詳しくは、「デモ表示が出ないようにする」（➡12ページ）をご覧ください。

省エネ設計
省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W
（タッチイルミ OFF、QP Link OFF）

MDLP

MEMORY 512MB

MP3/WMA PLAY BACK

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4～6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GVT0196-001A

もくじ

はじめに

準備

基本操作

聞く

録音する

編集

タイマーを使う

便利な機能

知っておいてほしいこと

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に設置すると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや、熱器具の近くなど高温になるところ
- 窓際など水滴の発生しやすいところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 不安定なところ
- 振動の激しいところ

寒い所から急に暖かい部屋へ移動したときは、1〜2時間待ってから電源を入れてください。

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

⚠注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池を充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

欧州連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器や蛍光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

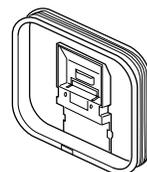
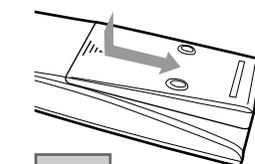
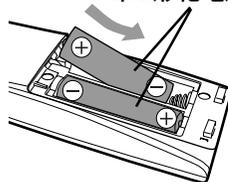
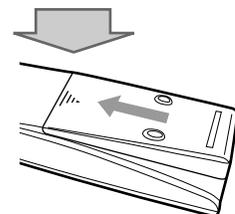
■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

付属品

リモコン（1個）
UX-QM7-S ：RM-SUXQM7-S
UX-QM7-W ：RM-SUXQM7-W

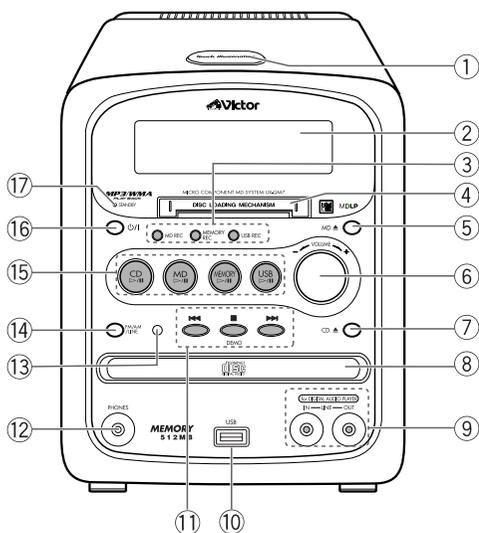
単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

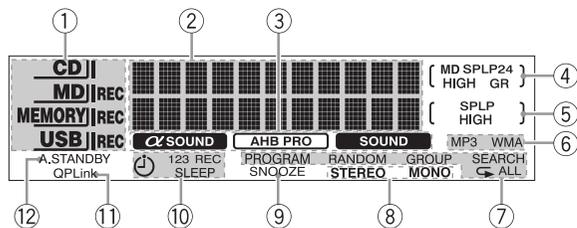
FM簡易型アンテナ
（１本）

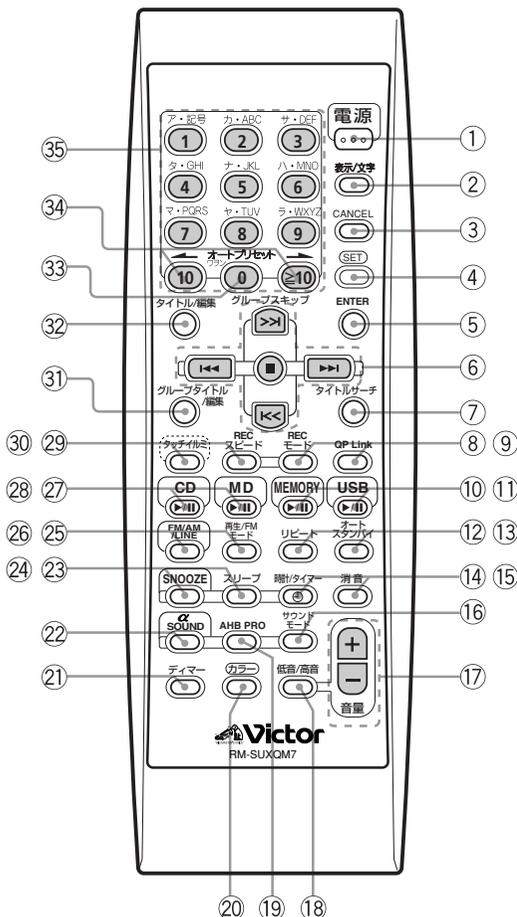
AMループアンテナ
（１個）

リモコンに乾電池を入れる

リモコン内部の極性(⊕/⊖)表示に合わせて正しく入れてください。

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意(➡6ページ)」をお読みの上、正しく取り扱ってください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

各部の名称　ー（　）内の数字のページに説明がありますー

本体

① Touch illumination/Snooze（15､58）
② 表示窓
③ 録音ボタン
・MD REC（39～41、59）
・MEMORY REC（31～33､35～37）
・USB REC（31～33､35～37）
④ MD挿入口（19）
⑤ MD ⏏（取り出し）（21）
⑥ VOLUMEつまみ（14）
⑦ CD ⏏（取り出し）（21､59）
⑧ CDトレイ（18）
⑨ LINE IN/OUT端子（26､27）
⑩ USB端子（20､30､34）
⑪ ⏮ 、⏭
・ラジオ（16）
・CD（21）
・MD（21）
・内蔵メモリー（21）
・USB接続機器（21）
■（停止）
・CD（21）
・MD（21）
・内蔵メモリー（21）
・USB接続機器（21）
⑫ PHONES（ヘッドホン）端子
ミニプラグ付ヘッドホン（別売り）をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。
⑬ リモコン受光部
⑭ FM/AM/LINE（16､26）
⑮ 再生ボタン
・CD ▷/❚❚（13）
・MD ▷/❚❚（13）
・MEMORY ▷/❚❚（13）
・USB ▷/❚❚（13）
⑯ ⏻/❘（電源）（13）
⑰ STANDBYランプ
電源「切」のとき赤色に点灯します。

表示窓

① ソース（音源）状態表示（18～20）
REC表示（35､37､39､40､41）
② 情報表示部
③ 音質表示
・α SOUND（14）
・AHB PRO（14）
・SOUND（14）
④ MDの録音情報表示
・録音モード表示（**SP､LP2､LP4**）（38）
・録音スピード表示（**HIGH**）（39）
・グループ録音表示（**GR**）（38）
⑤ 内蔵メモリー/USB接続機器の録音情報表示
・録音モード表示（**SP､LP**）（30）
・録音スピード表示（**HIGH**）（31）
⑥ ファイル形式表示
・MP3表示（19）
・WMA表示（19）
⑦ 再生モード表示
・PROGRAM表示（21､22）
・RANDOM表示（23）
・GROUP表示（23､24）
・SEARCH表示（25）
・リピートモード表示
（⟲ ALL）（24）
⑧ FMモード表示
・STEREO表示（16）
・MONO表示（16）
⑨ SNOOZE表示（58）
⑩ タイマー表示（55）
⑪ QPLink表示（27）
⑫ A.STANDBY表示（58）

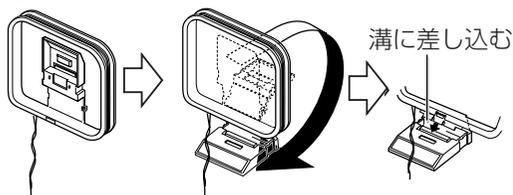
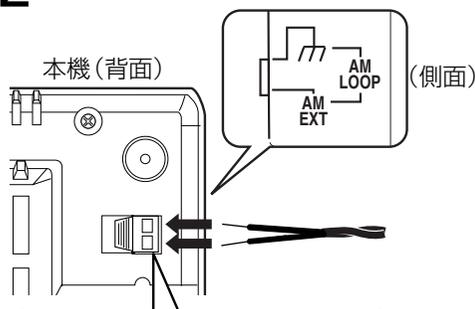
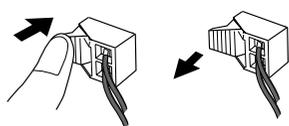
リモコン

リモコンの操作

- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

① 電源 (13)
② 表示/文字 (17、28、30、34、38、42、44)
③ CANCEL (13、22、43～46、48、50、55、56)
④ SET (13、17、22、25、26、32、35、43、45～57)
⑤ ENTER (17、32、35、43～54、56、57)
⑥ |◀◀、▶▶|
・ラジオ (16)
・CD (21、22)
・MD (21、22)
・内蔵メモリー (21、22)
・USB接続機器 (21、22)
・時計、タイマー (13、55～57)
■ (停止)
・CD (21)
・MD (21)
・内蔵メモリー (21)
・USB接続機器 (21)
|<<、>>|
・MD (21、24)
・内蔵メモリー (21、23、24)
・USB接続機器 (21、23、24)
⑦ タイトルサーチ(25)
⑧ RECモード(30～32、38～40、56)
⑨ QP Link (27)
⑩ MEMORY ▶/II (19)
⑪ USB ▶/II (20)
⑫ リピート(24)
⑬ オートスタンバイ(58)
⑭ 時計/タイマー ◴(13、55～57)
⑮ 消音(14)
⑯ サウンドモード(14)
⑰ 音量 +、− (14)
⑱ 低音/高音(14)
⑲ AHB PRO(14)
⑳ カラー(15)
㉑ ディマー(59)
㉒ α SOUND(14)
㉓ スリープ(55)
㉔ SNOOZE(58)
㉕ 再生/FMモード(16、22～24)
㉖ FM/AM/LINE(16、26)
㉗ MD ▶/II (19)
㉘ CD ▶/II (18)
㉙ RECスピード(31、39)
㉚ タッチイルミ(15)
㉛ グループタイトル/編集 (43、45～48、50～54)
㉜ タイトル/編集 (17、43、45～51)
㉝ オートプリセット (17)
㉞ 10、≧10 (13、17、21、44)
㉟ 数字ボタン(13、17、21、44)

接　続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

AMアンテナの接続

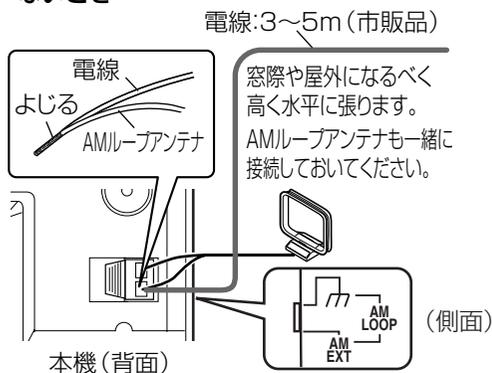
1 AMループアンテナ（付属品）を組み立てます。

2 アンテナ線を接続します。

3 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

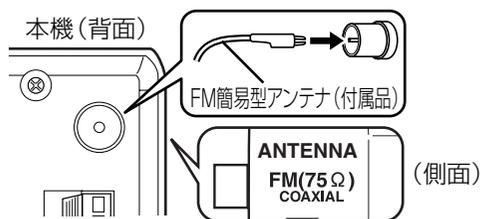
■付属のAMループアンテナではうまく受信できないとき

電線:3～5m（市販品）

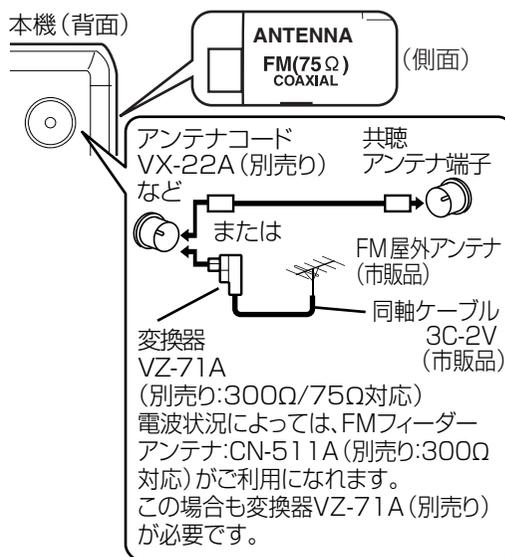
電線
よじる
AMループアンテナ

窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。
AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。

AM LOOP
AM EXT
（側面）
本機（背面）

FMアンテナの接続

本機（背面）
FM簡易型アンテナ（付属品）
ANTENNA FM(75Ω) COAXIAL
（側面）

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

■付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

本機（背面）
ANTENNA FM(75Ω) COAXIAL
（側面）

アンテナコード VX-22A（別売り）など
共聴アンテナ端子
または
FM屋外アンテナ（市販品）
同軸ケーブル 3C-2V（市販品）
変換器 VZ-71A（別売り:300Ω/75Ω対応）
電波状況によっては、FMフィーダーアンテナ:CN-511A（別売り:300Ω対応）がご利用になれます。
この場合も変換器VZ-71A（別売り）が必要です。

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください（「ラジオを聞く」➡16ページ）。

スピーカーの接続

- 正面向かって右スピーカー(スピーカー背面に Ⓡ が表示されています)をR端子に接続します。
- 正面向かって左スピーカー(スピーカー背面に Ⓛ が表示されています)をL端子に接続します。

接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

本機(背面)

スピーカーコード

スピーカーコードの先端のビニールは、**ねじりながら抜き取ります。**

US AND FOREIGN PATENTS LICENSED FROM DOLBY LABORATORIES LICENSING CORPORATION.

スピーカーコード
白
黒

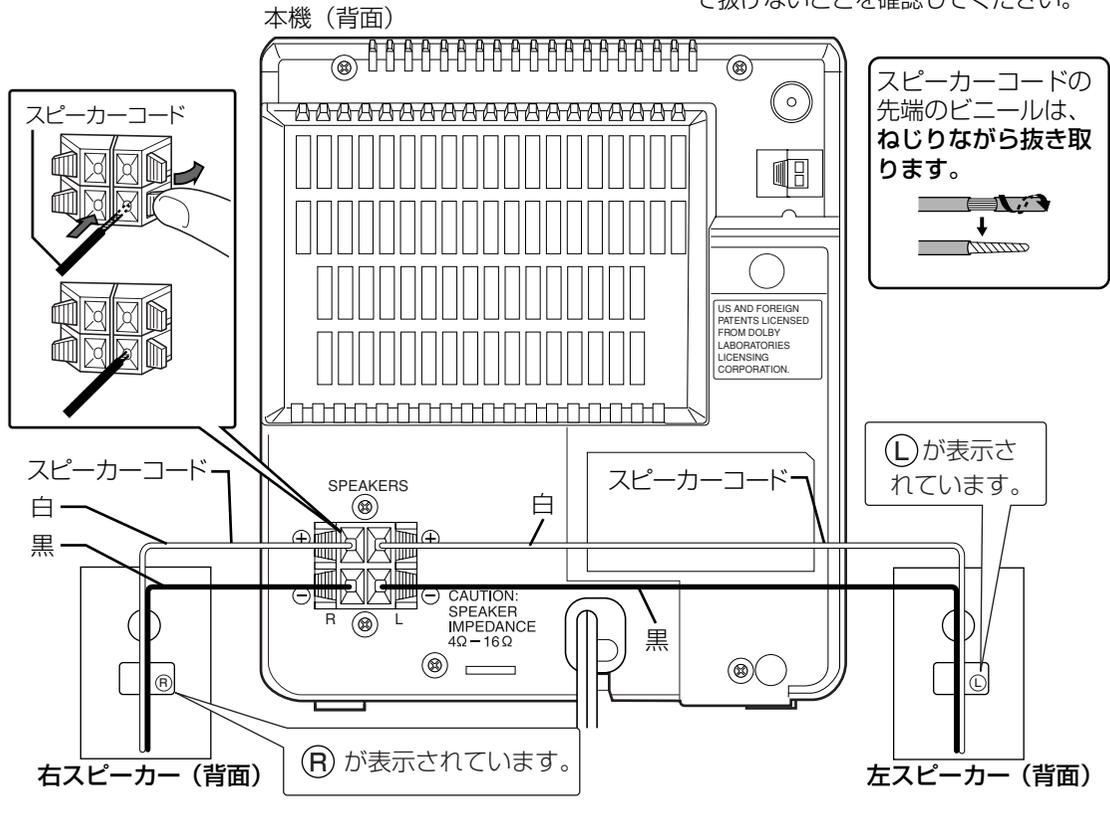
SPEAKERS
+ +
− −
R L
CAUTION: SPEAKER IMPEDANCE 4Ω−16Ω

白
スピーカーコード
黒

Ⓛ が表示されています。

Ⓡ が表示されています。

右スピーカー(背面)

左スピーカー(背面)

ご注意

- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

お知らせ

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω〜16Ωです。
- 本機の内部で発生した熱を放出するために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

サランネットは取り外すことができます。

電源プラグを接続する

- 電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電に心がけてください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が1分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら設定し直してください。

デモ表示が出ないようにする

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、表示窓に「DEMO START!」と表示され、デモ表示が始まります。ご使用の前にデモ表示が出ないよう「DEMO CLEAR」にしてください。

■ 電源「切」のとき

本体の DEMO を「DEMO CLEAR」が表示されるまで長押しする

これ以後は、電源プラグを抜き差ししてもデモ表示は行われません。

お知らせ

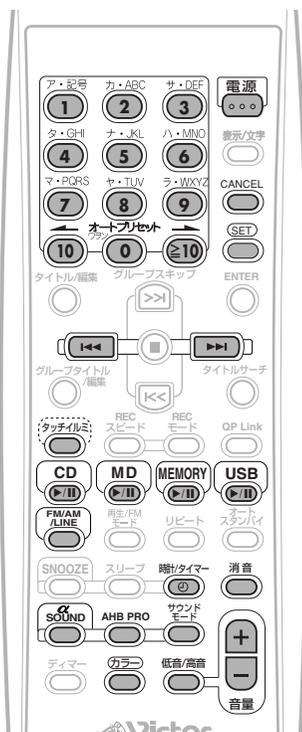
- デモを再表示したいときは、電源「**切**」のとき、本体の DEMO を「**Hello**」が表示されるまで長押しします。
- デモ表示のときは、電源「**入**」の状態になります。
- デモ表示中に、本機のいずれかのボタンを押すと「**DEMO OFF**」と表示され、デモ表示が解除されます。（電源プラグを抜き差しすると、再度デモ表示が始まります。）

基本操作

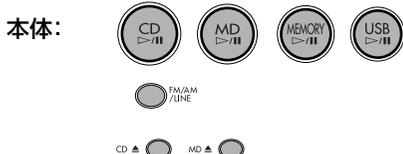
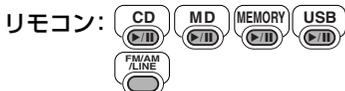
本書の見かた

主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

電源を入れる/切る

(または本体の ⏻/I)を押す

- 電源が「**切**」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

リモコン:

本体:

CD ≜ ◯ MD ≜ ◯以外を押したときはソース(音源)も切換わります。CDやMDが入っているとき、再生できるデータが入っているとき、USB機器が接続されているときは再生が始まります。

時計を合わせる

電源が「入/切」どちらの状態でも操作できます。

1

を押す

0:00 Sun.

2 **2分以内に ▶▶I または I◀◀ で「時」を合わせてから (SET) を押し、▶▶I または I◀◀ で「分」を合わせてから (SET) を押す**

- 「時」を合わせてから (SET) を押すと、点滅が「分」に移動します。
- 押したままにすると連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。
  下の「数字ボタンの使い方」をご覧ください。

3 **▶▶I または I◀◀ で「曜日」を合わせてから (SET) を押す**

曜日表示:

Ｓｕｎ．→日曜日、Ｍｏｎ．→月曜日、
Ｔｕｅ．→火曜日、Ｗｅｄ．→水曜日、
Ｔｈｕ．→木曜日、Ｆｒｉ．→金曜日、
Ｓａｔ．→土曜日

- 合わせた「分」の0秒から時計が動きはじめます。

お知らせ

- 操作の途中で (CANCEL) を押すと前の手順に戻れます。

時計を合わせ直すには

(時計/タイマー) を4回押して時計を表示させ、手順2から操作します。

お知らせ

- 本機の時計は24時間表示です。
- 月に1分程度のズレを生じます。
- 電源コードを抜いたり停電があったときは、時計を設定し直してください。

数字ボタンの使い方

例: 3: (3)

20:

23:

100: (≧10) → (≧10) → (1) → (0) → (0)

音量を調節する

を押す

- 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。
- VOLUME 0〜40の範囲で調節できます。

一時的に消音する

消音 を押す

- 「FADE MUTING」と点滅表示され、音量が「0」になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。

重低音を強調する

AHB PRO を押す

- 押すごとにON/OFFが切換わります。
- 「ON」のときは表示窓に AHB PRO が表示されます。
- AHB PROは、Active Hyper Bass PROの略です。

音質を調節する

お知らせ

- サウンドモード(➡右の説明)を「**ノーマル**」(表示窓の SOUND が消灯した状態)にしておいてください。「**ノーマル**」以外のときは、「NO OPERATE」と表示され、調節できません。

1 低音/高音 をくり返し押して「BASS」(低音の調節)または「TREBLE」(高音の調節)を表示させる

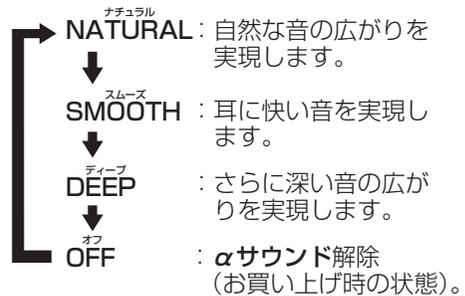
2 表示窓に「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、音量 を押して音質を調節する

- −5〜+5の範囲で調節できます。
- 数秒後に自動で元のソース(音源)表示に戻ります。

α SOUND

α SOUND を押す

- 押すごとに次のように切換わります。

NATURAL：自然な音の広がりを実現します。
↓
SMOOTH：耳に快い音を実現します。
↓
DEEP：さらに深い音の広がりを実現します。
↓
OFF：**αサウンド**解除（お買い上げ時の状態）。

- αサウンドが「**OFF**」以外のとき、表示窓に αSOUND が表示されます。

お知らせ

- サウンドモードとαサウンドは、録音される音には影響しません。
- サウンドモードとαサウンドは同時に設定することはできません。どちらかを設定すると他方は自動解除(OFF)されます。

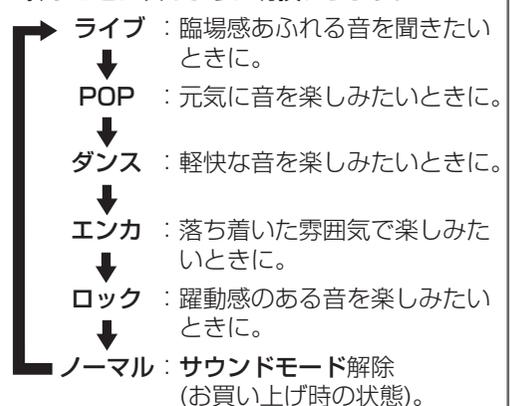
αサウンド

α(アルファ)波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのα DIMENSION SOUNDは、サラウンド回路の要である左右差信号(L−R間接音)にα波周波数でゆらぎを与え(これをLＦO変調といいます)、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

サウンドモード

サウンドモード を押す

- 押すごとに次のように切換わります。

ライブ：臨場感あふれる音を聞きたいときに。
↓
POP：元気に音を楽しみたいときに。
↓
ダンス：軽快な音を楽しみたいときに。
↓
エンカ：落ち着いた雰囲気で楽しみたいときに。
↓
ロック：躍動感のある音を楽しみたいときに。
↓
ノーマル：**サウンドモード**解除（お買い上げ時の状態）。

- サウンドモードが「**ノーマル**」以外のとき、表示窓に SOUND が表示されます。

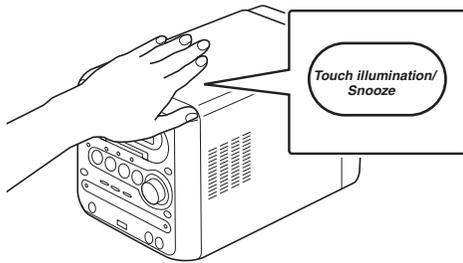
リモコンのボタンの位置は
13ページをご覧ください。

サウンドモード

ビクターの音響技術を組み合わせ、リスナーの気分に合わせた音の世界を演出します。

お知らせ
- 録音される音には影響しません。

タッチイルミネーション

電源が「切」のとき、Touch illumination/Snooze（タッチ イルミネーション/スヌーズ）に触れると、表示窓が約5秒間点灯します。暗いところで時計を見るときなどに便利です。

電源が「入」のとき、この操作をすると、表示窓のカラーパターン(➡右の説明)が切換わります。

タッチイルミネーションの設定

■ 電源「入」のとき

タッチイルミ **を押す**

- 押すごとに、次のように切換わります。

タッチイルミ　ON：タッチイルミネーションが機能します。（お買い上げ時の状態）

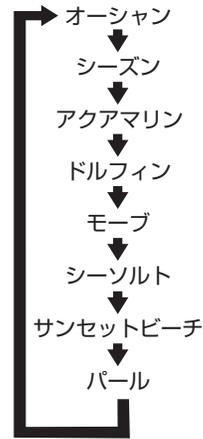
↕

タッチイルミ　OFF：タッチイルミネーションが解除されます。

お知らせ
- 「タッチイルミ　ON」のとき、電源が「切」の状態でも本体背面が暖かくなりますが、故障ではありません。

カラーパターンを変更する

 を押す

- 押すごとに表示窓の色が切換わります。

お知らせ
- 録音動作が停止したとき、表示窓の色が赤色になり、録音が終了したことをお知らせします。次に操作をすると選ばれていたカラーパターンに戻ります。
- 「DIMMER OFF（ディマー オフ）」（「ディマー」➡59ページ）のとき、本体の再生ボタンで操作すると、すべての再生ボタンの青い照明が3回点滅します。

基本操作

ラジオを聞く

FM放送またはAM放送を受信することができます。

放送局を選ぶ

1 **FM/AM /LINE を押して「FM」または「AM」を選ぶ**

例:FM放送を受信中の表示

プリセット番号(➡17ページ)

周波数　ステレオ表示

2 **▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、聞きたい放送局(周波数)を選ぶ**

- オート(自動)選局(下記)もできます。

オート(自動)選局

▶▶I または I◀◀ を押し続け、周波数が変わり始めたら指を離します。
放送を受信すると自動で止まります。

途中で止めたいときは、▶▶I または I◀◀ を押します。

- FMステレオ放送を受信すると、「STEREO(ステレオ)」表示が点灯します。

FMモードの切換え

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、再生/FMモード を押し、音声をモノラルにする(「MONO」が点灯)と、聞きやすくなることがあります。

もう一度 再生/FMモード を押すとステレオ受信に戻ります。

お知らせ

- 本機は、テレビ1ch:95.75 MHz、2ch:101.75 MHz、3ch:107.75 MHzの音声を受信することができます。
  地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM放送は最大30局、AM放送は最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート（自動）プリセット

FM放送とAM放送それぞれについて操作してください。

■ FM放送またはAM放送を受信中に

を「AUTO PRESET」が表示されるまで長押しする

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 新しく記憶された放送局は上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル（手動）プリセット

放送局を1つずつ記憶させます。

■ プリセットしたい放送局を受信中に

1 SET **を押す**

プリセット番号が約5秒間点滅します。

2 **プリセット番号が点滅している間に、数字ボタン（1～10、0、≧10）を押して記憶させたい番号を選ぶ**

- 「数字ボタンの使い方」（➡13ページ）をご覧ください。

3 **選んだ番号が点滅している間に SET を押す**

「STORED（ストアード）」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ
- FMモード（➡16ページ）も記憶されます。
- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局に上書きされます。

放送局を呼び出す（プリセット選局）

■ FMまたはAMを受信中に

数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

「数字ボタンの使い方」（➡13ページ）をご覧ください。

放送局名を入力する

プリセット選局で記憶した放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

1 **放送局名を入力したい放送局をプリセット選局する**

2 タイトル/編集 **を押す**

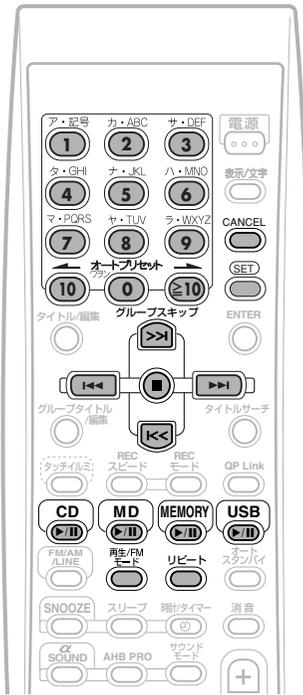
3 **表示/文字 と数字ボタン（1～10、0、≧10）で局名を入力する**

- 入力方法は「タイトル入力のしかた」（➡44ページ）をご覧ください。

4 ENTER **を押す**

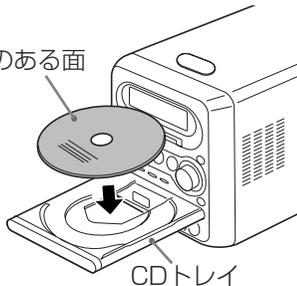
- 「STORED」と表示され、入力した局名が登録されます。

お知らせ
- 放送局名を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

CD/MD/内蔵メモリー/USB接続の音を聞く

CDを聞く

1 本体の CD ▲ を押す

• CDトレイが出ます。

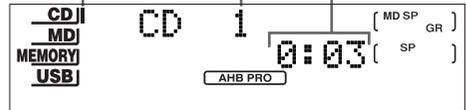
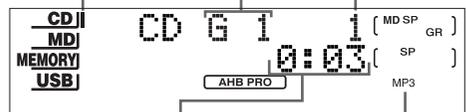
2 CDをCDトレイに置く

• 8センチCDは内側の凹部に置きます。

3 CD ▶/II を押す

本機で再生できるディスクの種類、フォーマット、ファイル形式などについて詳しくは、「ディスクとファイルについて」(➡60ページ)をご覧ください。

CDの表示窓

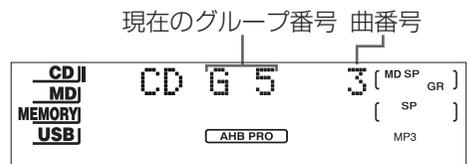
■ 再生中の表示

音楽CDのとき:

MP3/WMAファイルのとき:

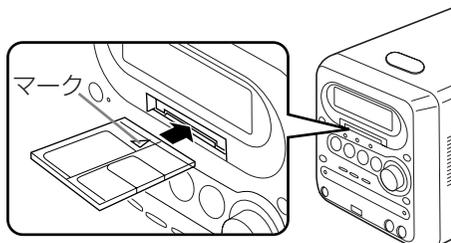
• 曲タイトル(ファイル名)が最初に表示されます。
• 半角英数字、カタカナ以外の文字が含まれているときは、正しく表示されません。

■ 停止中の表示

音楽CDのとき:

MP3/WMAファイルのとき:

MDを聞く

■ 電源「入」のとき

1 MDを入れる

ご注意

- 電源「切」のときはMDを入れないでください。無理に押し込むと故障の原因となります。

2 を押す

MDの表示窓

■ 再生中の表示

- 曲タイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。
- ＊グループ分けされていないときは「G−−」と表示されます。
- MD表示が点灯または点滅しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

■ 停止中の表示

- ディスクタイトルがある場合は、最初に表示されます。
- 長いタイトルはスクロールされます。
- ＊グループ分けされていないときは「G−−」と表示されます。

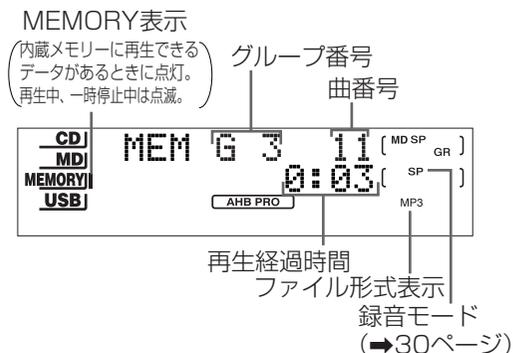
内蔵メモリーの音声を聞く

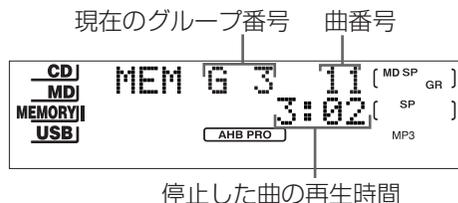
■ 本機には、512MBの内蔵メモリーが搭載されています。
内蔵メモリーには、あらかじめ曲を録音しておきます。
内蔵メモリーへの曲の録音のしかたは、30ページをご覧ください。

MEMORY（▶/Ⅱ）を押す

- 前回再生していた曲、または停止した曲の頭から再生が始まります。

内蔵メモリーの表示窓

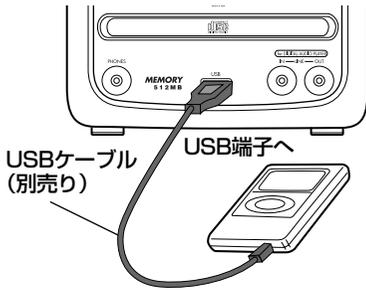
■ 再生中の表示

- 曲タイトルが最初に表示されます。

■ 停止中の表示

聞く

USB接続した機器の音声を聞く

1 USB機器を接続する

USB端子にUSBマスストレージ対応のデジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリーを接続します。
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

USBマスストレージ規格対応
デジタルオーディオプレーヤー
またはUSBフラッシュメモリー

- USB接続機器は、本機に直接接続してください、ハブを使った接続はしないでください。

2 USB (▶/II) を押す

- 再生していた曲、または停止した曲の頭から再生が始まります。

USB接続機器の表示窓

■ 再生中の表示

USB表示
（USB機器を接続すると点灯。再生中、一時停止中は点滅。）

- 曲タイトルが最初に表示されます。
- 半角英数字、カタカナ以外の文字が含まれているときは、正しく表示されません。

■ 停止中の表示

USBについて

- 本機は、USBマスストレージ規格に対応しています。USB経由のメディアを使った音楽ファイルの再生や録音（転送）ができます。
  再生は、MP3、WMA、WAV形式に対応しています。
- USBカードリーダー、USBハブには、対応していません。
- USBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤー（以下DAP）の場合、本機で録音（転送）した曲は本機で再生できます。
  本機以外からのMP3、WMA、WAV形式のファイルが収録されている場合、それらのファイルが本機で再生できるとはかぎりません。個々のDAPの仕様や制限などによって異なります。
  また、本機からDAPに録音（転送）した曲のDAPでの再生についても個々のDAPによって異なります。
- 本機の電源が「入」のとき、接続しているUSB機器に電源が供給されます。
- **本機のUSB端子にパソコンは接続しないでください。対応していません。**

ご注意

- 本機とデジタルオーディオプレーヤーなどを接続して使用しているとき、デジタルオーディオプレーヤーなどのデータが消失あるいは損傷した場合、当社は一切責任を負いかねます。
- すべてのUSBマスストレージ規格対応の機器に対して、動作や電源供給を保証するものではありません。

その他の操作

	操　作
停止する	(■) を押す。
一時停止する	再生中に CD ►/II、MD ►/II、MEMORY ►/II、USB ►/II を押す。 もう一度押すと再生を再開します。
頭出し（スキップ）	⏮：/ ⏭：くり返し押す。
早送り・早戻し（サーチ）	⏮：/ ⏭：再生中に押したままにする。
CDまたはMDを取り出す	本体のCD ▲、MD ▲ を押す。
USB機器を取りはずす	本機の動作が停止していることを確認してからはずしてください。 ビクター製デジタルオーディオプレーヤーXA-C109またはXA-C59をお使いのときは、62ページをご覧ください。

ご注意

- USB接続機器は、本機またはUSB接続機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

聞きたい曲を指定する（ダイレクト選曲）

聞きたい曲を数字ボタン（ア・記号 1）～ 10、ワラン 0、≧10）で選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」（➡13ページ）をご覧ください。

聞きたいグループから再生

■ MP3/WMAが収録されているCD、
MD（グループ分けされているとき）、
内蔵メモリー、
USB接続機器、
のとき操作できます。

再生中に グループスキップ >>| または |<< を押す

- 選んだグループの最初の曲から再生されます。

CD/MDのプログラム再生

CDは50曲、MDは32曲までプログラムに登録して聞くことができます。

1 CDのとき：CD ►/II ➡ (■)を押す　MDのとき：MD ►/II ➡ (■)を押す

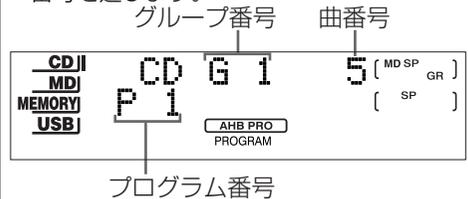
2 再生/FMモード を押して「PROGRAM（プログラム）」を選ぶ

例：CDのプログラム再生のとき

PROGRAM表示

3 数字ボタン（ア・記号 1）～ 10、ワラン 0、≧10）で曲番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」（➡13ページ）をご覧ください。

MP3/WMAのとき
数字ボタンでグループ番号を選んでから、曲番号を選びます。

- プログラムの総再生時間は、表示されません。

4 CDのとき：CD ►/II を押す　MDのとき：MD ►/II を押す

聞く

お知らせ

- CD、MD、内蔵メモリー、USB接続機器の曲を組み合わせたプログラム再生はできません。
- CDの51曲目、MDの33曲目をプログラムしようとすると「PROGRAM FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。
- MDのプログラムの総再生時間が、2時間31分以上になると、「--:--」と表示されます（プログラムは引き続きできます）。
- プログラムした曲を削除するときは、「プログラムした曲を削除する」（➡右の説明）をご覧ください。

内蔵メモリー/USB機器のプログラム再生

最大99曲までプログラムに登録して聞くことができます。

■ 通常再生のとき、操作します。

プログラム再生する曲を登録する

登録したい曲を再生中に、SETを押す

- 押した順にプログラムに登録されます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、ランダムグループ再生中は、登録されません。

例：内蔵メモリーのとき　プログラム番号

お知らせ

- 100曲目を登録しようとすると「PROGRAM FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。

プログラム再生する

1 **内蔵メモリーのとき：MEMORY（▶/II） ➡ ■を押す**

USB接続のとき：USB（▶/II） ➡ ■を押す

2 **再生/FMモードを押して「PROGRAM」を選ぶ**

例：内蔵メモリーのとき

プログラム登録されている曲数

最後に登録した曲のグループ番号と曲番号　PROGRAM表示

- 登録されている曲が無いときは、「MEM（またはUSB） PROGRAM」と表示されます。

3 **内蔵メモリーのとき：MEMORY（▶/II）を押す**

USB接続のとき：USB（▶/II）を押す

プログラム再生での他の操作

プログラムした内容を確認する

停止中に⏮または⏭をくり返し押す

- CD/MDの場合、ここでプログラムを（最後の曲として）追加することもできます（「CD/MDのプログラム再生」（➡21ページ）手順3参照）。

プログラム再生を解除するには

停止中に再生/FMモードをくり返し押して「PROGRAM」以外を表示させる

- プログラムした内容は削除されません。

プログラムした曲を削除する

停止中にCANCELを押す

- プログラムの最後の曲が削除されます。

プログラムした内容をすべて削除するには

停止中にCANCELを長押しする

お知らせ

- 電源を「切」にするとプログラムした内容が削除され、プログラム再生も解除されます。
- CDを取り出すと、CDのプログラム内容が削除され、プログラム再生も解除されます。
- MDを取り出すと、MDのプログラム内容が削除され、プログラム再生も解除されます。
- USB接続機器を取りはずすと、USBのプログラムした内容が削除され、プログラム再生も解除されます。

ランダム再生

ランダム(無作為)な順序で再生することができます。

1 CDのとき:CD ▶/II → ■を押す
MDのとき:MD ▶/II → ■を押す
内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II → ■を押す
USB接続のとき:USB ▶/II → ■を押す

2 再生/FMモードをくり返し押して「RANDOM(ランダム)」を選ぶ

例:MDのランダム再生のとき

RANDOM表示

3 CDのとき:CD ▶/II を押す
MDのとき:MD ▶/II を押す
内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II を押す
USB接続のとき:USB ▶/II を押す

お知らせ
- CD、MD、内蔵メモリー、USB接続機器の曲を組み合わせたランダム再生はできません。
- |◀◀を押すと再生中の曲の頭に戻りますが、|◀◀をくり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

ランダム再生を解除するには

停止中に再生/FMモードをくり返し押して「RANDOM」以外を表示させる

お知らせ
- 電源を「切」にする、CDやMDを取り出す、USB機器を取りはずす操作をすると、ランダム再生は解除されます。

グループランダム再生

選んだグループ内の曲をランダム(無作為)な順序で再生することができます。

■ 内蔵メモリー、
USB接続機器、
のとき操作できます。

1 内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II → ■を押す
USB接続のとき:USB ▶/II → ■を押す

2 グループスキップ >>| または |<< を押して、ランダム再生するグループを選ぶ

3 再生/FMモードをくり返し押して「GROUP RANDOM」を選ぶ

例:内蔵メモリーのとき

GROUP RANDOM表示

4 内蔵メモリーのとき:MEMORY ▶/II を押す
USB接続のとき:USB ▶/II を押す

お知らせ
- 内蔵メモリーとUSB接続機器の曲を組み合わせたランダムグループ再生はできません。
- |◀◀を押すと再生中の曲の頭に戻りますが、|◀◀をくり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

グループランダム再生を解除するには

停止中に再生/FMモードをくり返し押して「GROUP RANDOM」以外を表示させる

お知らせ
- 電源を「切」にする、またはUSB接続機器を取り外すと、グループランダム再生は解除されます。

聞く

リモコンのボタンの位置は18ページをご覧ください。

グループ再生

お好みのグループだけを再生できます。

■ MD、
内蔵メモリー、
USB接続機器、
のとき操作できます。

1 **MDのとき：MD ▶/II → ■を押す**

内蔵メモリーのとき：MEMORY ▶/II → ■を押す

USB接続のとき：USB ▶/II → ■を押す

2 **再生/FMモード をくり返し押して「GROUP（グループ）」を選ぶ**

例：内蔵メモリーのグループ再生のとき

GROUP表示

3 **MDのとき：MD ▶/II を押す**

内蔵メモリーのとき：MEMORY ▶/II を押す

USB接続のとき：USB ▶/II を押す

- MDのときはGROUP 1、内蔵メモリー/USB接続機器のときはMUSIC GROUP、それぞれグループ内の先頭の曲から再生が始まります。
- グループが1つもないときは、「GROUP」表示が消え、通常の再生になります。

4 **グループスキップ >>I または I<< を押して、聞きたいグループを選ぶ**

- 選んだグループ内の曲がすべて再生されると自動的に停止します。

グループ再生を解除するには

停止中に 再生/FMモード をくり返し押して、「GROUP」以外を選ぶ

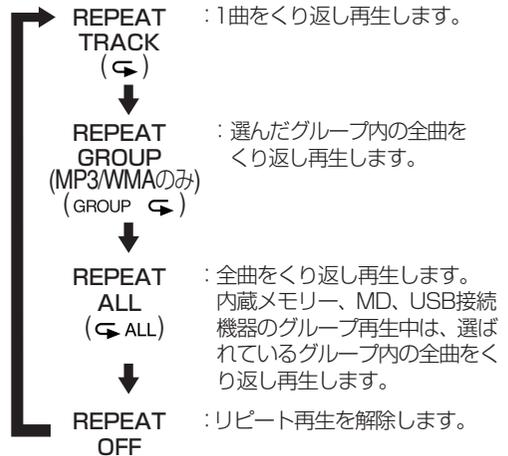
お知らせ

- 電源を「切」にする、MDを取り出す、USB機器を取りはずす操作をすると、グループ再生は解除されます。

リピート再生

聞きたい曲をくり返し再生することができます。

リピート をくり返し押してリピートモードを選ぶ

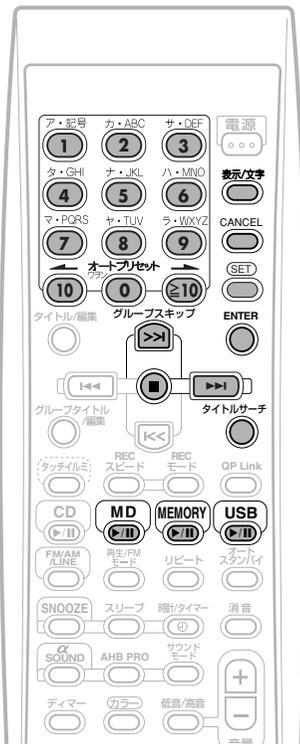
- 押すごとに、次のように切換わります。

例：REPEAT ALLのとき

リピートモード表示

お知らせ

- 次の場合もリピート再生が解除されます。
  - 電源を「切」にする。
  - CDを取り出す→CDのリピート再生が解除されます。
  - MDを取り出す→MDのリピート再生が解除されます。
  - MDの編集操作をする
    →MDのリピート再生が解除されます。
  - 内蔵メモリーまたはUSB接続機器のいずれかで編集操作をする
    →内蔵メモリーとUSB接続機器のリピート再生が解除されます。

タイトルサーチ

MD、内蔵メモリー、USB接続機器の曲やグループのタイトルをサーチ（検索）し、再生できます（CDはタイトルサーチができません）。

1 **MDのとき：** MD ▶/II ➡ ■ **を押す**

内蔵メモリーのとき： MEMORY ▶/II ➡ ■ **を押す**

USB接続のとき： USB ▶/II ➡ ■ **を押す**

2 タイトルサーチ **をくり返し押して、サーチの種類を選ぶ**

TRACK T.SEARCH：曲のタイトルでサーチします。

T：Title（タイトル）の略です

↕

GROUP T.SEARCH：グループのタイトルでサーチします。（グループ分けされているときのみ有効）

3 SET **を押す**

例：内蔵メモリーの曲のタイトルサーチのとき

グループタイトルサーチのときはGROUP SEARCHと表示されます。

4 **数字ボタンを押してタイトルを入力する**

- 最初の1～5文字まで入力します。
  例：「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に検索します。
  「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に検索します。
- 文字の入力方法は「タイトル入力のしかた」（➡44ページ）をご覧ください。
- MDの場合、タイトルが記録されていない曲やグループ（NO TITLE）をサーチしたいときは、何も入力しないで手順5に進みます。

5 ENTER **を押す**

- 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

お知らせ

- 空白（スペース）も文字として扱われますが、空白（スペース）の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示されます。

次の曲（またはグループ）をサーチする

▶▶I **（または** グループスキップ >>I **）を押す**

タイトルサーチをやめる

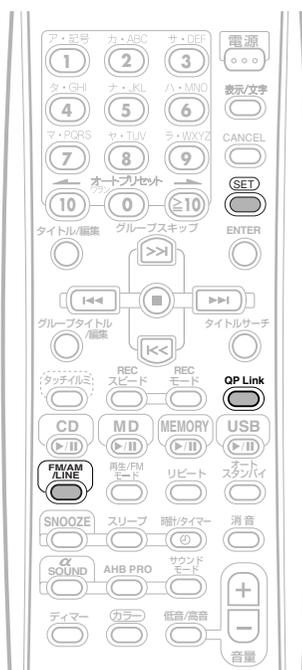
タイトルサーチ **を押す**

- MDのときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが解除され、再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。
  内蔵メモリー/USB接続機器のときは、タイトルサーチが解除され、再生中の曲で停止します。

聞く

LINEに接続した機器の音声を聞く

LINEからの音声を聞くときの接続

本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

LINEに接続した機器の音声を聞く

本機前面のLINE IN端子に接続したデジタルオーディオプレーヤーの音声を聞きます。

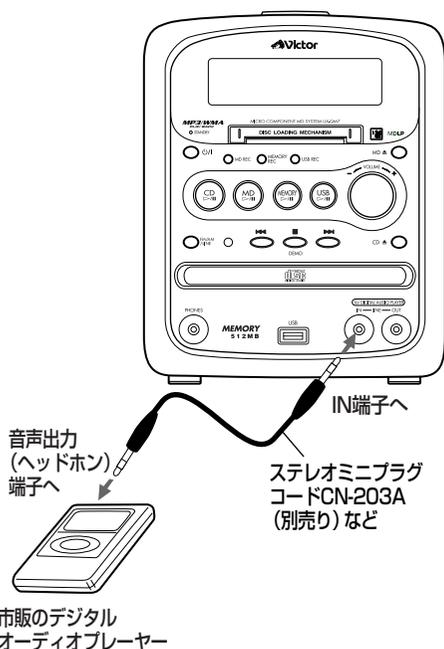
1 FM/AM /LINE をくり返し押して「LINE」を選ぶ

2 LINEに接続した機器（デジタルオーディオプレーヤー）を再生する

- 詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

本機のLINE IN端子に接続した機器（デジタルオーディオプレーヤー）からの音声信号が入力されると、泡がふくらむような動きで表示されます。

3 本機の音量などを調節する

- 調節方法は「基本操作」（➡14ページ）をご覧ください。

LINE IN端子の音声入力レベルを調節する

本機のLINE IN 端子に接続した機器（デジタルオーディオプレーヤーなど）からの音声入力レベルを、本機で調節することができます。

■ ソース（音源）がLINEのとき操作します。

入力レベルが表示されるまで SET を長押しする

- 長押しするごとに、次のように切換わります。

QP Link機能を使う

QP Link(Quick Portable Link)機能を使うと、LINE IN端子に接続したデジタルオーディオプレーヤーを再生するだけで、本機で聞くことができます。

■ QP Link機能のオン/オフ

QP Link を押す

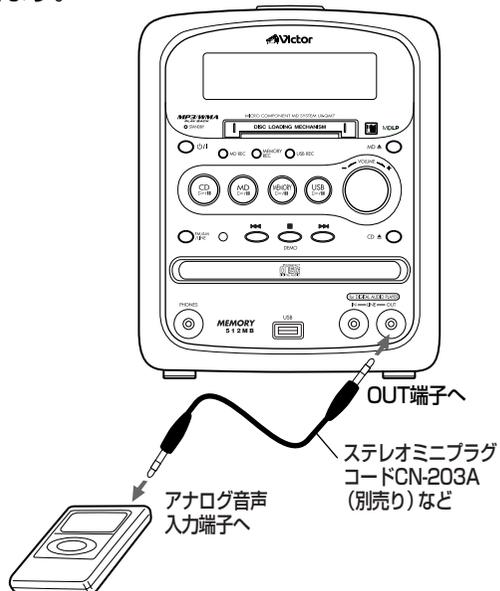
- 押すごとに、「**QP Link ON**(オン)」(お買い上げ時の設定)または「**QP Link OFF**(オフ)」に切換わります。
- 「**QP Link ON**」でQP Link機能が動作可能なとき、表示窓の**QPLink**が点灯します。

QP Link機能がオンのとき、LINE IN端子にデジタルオーディオプレーヤーを接続し、再生を始めると、自動的に本機のソース(音源)が「LINE」に変わり、デジタルオーディオプレーヤーの音声を聞くことができます。本機の電源が「切」のときは、「入」になります。

QPLink表示

- デジタルオーディオプレーヤーからの音声信号が弱いときは、QP Link機能が働かないことがあります。このようなときは、デジタルオーディオプレーヤーの音量を上げてください。
- QP Link機能でデジタルオーディオプレーヤーからの音声を聞いているとき、他のソース(音源)を選ぶと、QP Link機能が解除されます。このとき、デジタルオーディオプレーヤーをLINE IN端子から抜き差しすると、再度QP Link機能がオンになります。
- QP Link機能でデジタルオーディオプレーヤーからの音声を聞いているとき、電源を「**切**」にすると(タイマー機能による電源「**切**」も含む)、QP Link機能は、一時的に解除されます。
  30秒以上デジタルオーディオプレーヤーからの音声信号の入力がないと、再度QP Link機能がオンになります。
- QP Link機能がオンのときに、LINE IN端子の抜き差しを行うと、ソース(音源)が「**LINE**」に変わることがありますが、故障ではありません。
- 次の場合、QP Link機能は動作しません。
  – 録音中
  – タイマー録音中

LINEに録音するときの接続

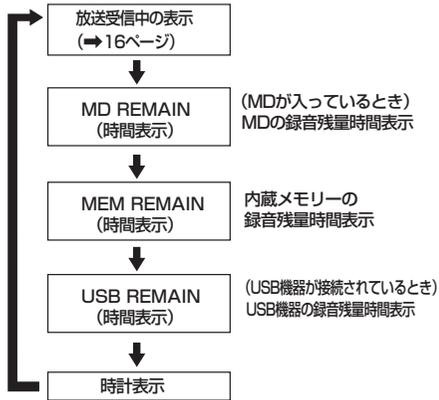
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

- アナログ音声入力端子が付いているデジタルオーディオプレーヤーにつなぐと録音できます。
  録音の方法は、デジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- ソース(音源)が「**LINE**」以外のとき、音声が録音されます。

アナログ音声入力端子が付いているデジタルオーディオプレーヤーに録音するときのご注意

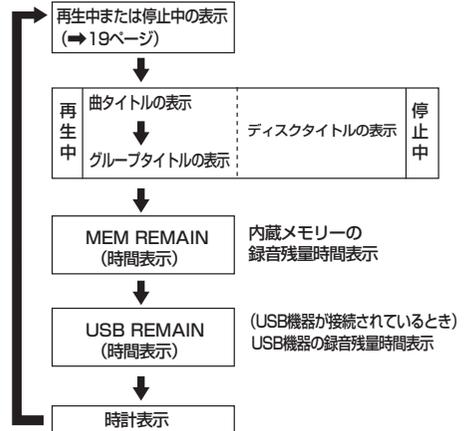
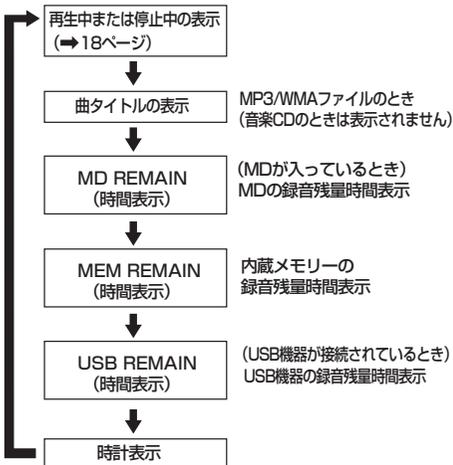
デジタルオーディオプレーヤーに本機の音声を録音するときは、本機のQP Link機能をオフにするか、本機のLINE OUT端子とデジタルオーディオプレーヤーのアナログ音声入力端子だけを接続し、本機のLINE IN端子とデジタルオーディオプレーヤーの音声出力(ヘッドホン)端子は接続しないでください。
本機のQP Link機能がオン(お買い上げ時の設定)で本機のLINE IN端子とデジタルオーディオプレーヤーの音声出力(ヘッドホン)端子が接続されていると、本機のソース(音源)が自動で「**LINE**」に切換わり、デジタルオーディオプレーヤーの録音が途中で停止することがあります。

表示窓の表示を変える

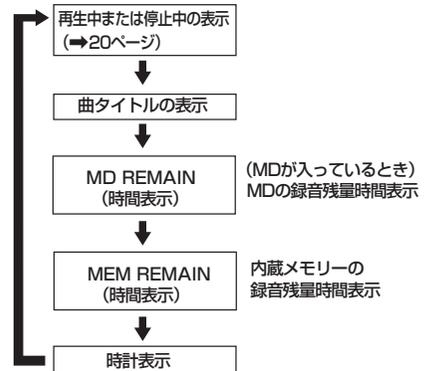
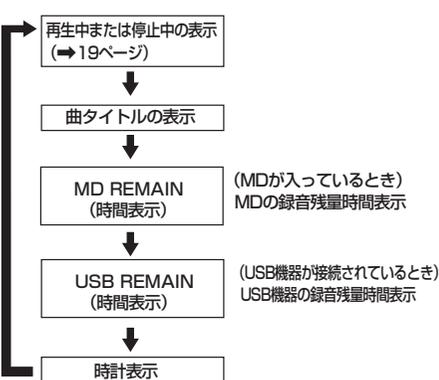
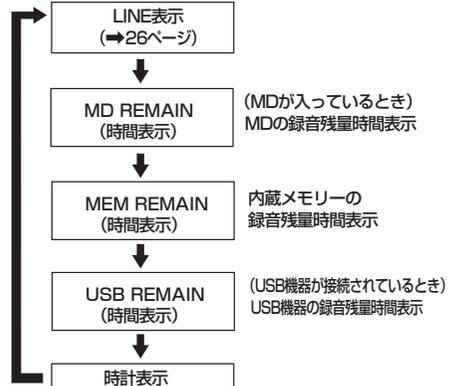
表示/文字 を押す

- 押すごとに、下記のように切換わります。

■ ラジオ放送のとき

■ CD再生中(または停止中)のとき

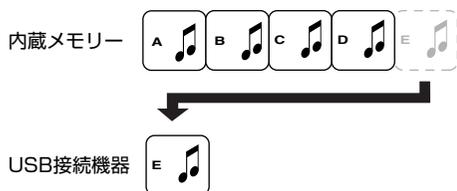
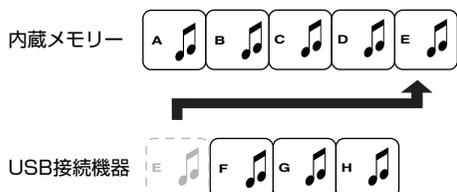
■ 内蔵メモリー再生中(または停止中)のとき

■ MD再生中(または停止中)のとき

- ディスクタイトルがないときは「NO TITLE」、曲タイトルがないときは「NO TR TITLE」、グループタイトルがないときは「NO GR TITLE」と表示されます。

■ USB接続機器再生中(または停止中)のとき

■ LINEのとき

録音する前に

内蔵メモリーまたはUSB接続機器への録音について

- 本機は、**512MBのメモリーを内蔵**しています。LPモードで録音した場合、最大約250曲(CD約25枚分)まで保存できます。
- 内蔵メモリーまたはUSB接続機器には、最大999トラックまで録音できます(1つのグループのファイル数は最大255です)。それ以上録音しようとすると「**TRACK FULL**」が表示されます。
- 内蔵メモリーまたはUSB接続機器には、最大99グループまで作ることができます。それ以上録音しようとすると「**GROUP FULL**」が表示されます。
- CD、MD、ラジオ放送、LINE接続機器の音声は、**MP3形式のフォーマットで録音**されます。
- MDやMP3/WMAが収録されているCDなど、曲にタイトルがついているときは、タイトル名がコピーされ、そのあとに拡張子(.MP3)がつきます。ただし「¥、/、:、;、,、”、*、<、>、?、|」がファイル名にあるときは、その部分が空白になります。
  タイトル名がないときは、「**track.MP3**」が付きます。
- USB機器から内蔵メモリーへの録音は、音声ファイルの転送になり、タイトルもそのまま転送されます。転送すると、USB機器の音声ファイルは残りません(転送のイメージは下図をご覧ください)。
  本機の**内蔵メモリーはMP3形式、WMA形式、WAV形式のファイルに対応**しています。これらの形式の音声ファイルが転送できます。
- 内蔵メモリーからUSB接続機器への録音は、音声ファイルの転送になり、タイトルもそのまま転送されます。転送すると、内蔵メモリーの音声ファイルは残りません(転送のイメージは下図をご覧ください)。
  本機の**内蔵メモリーに収録されているMP3形式、WMA形式、WAV形式の音声ファイル**を転送できます。

内蔵メモリーのE曲をUSB接続機器に転送すると

USB接続機器のE曲を内蔵メモリーに転送すると

MDへの録音について

- 本機のMDでは、通常の2倍の時間で録音できる「モノラル録音」はできません。
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「**DISC FULL**」が表示されます。
- すでに途中まで録音してあるMDのときは、本機が未録音部分を探して録音します。
- MP3/WMAが収録されているCDや内蔵メモリー、USB接続機器からの録音は、曲タイトルもコピーされます。

録音全般について

- 録音中は、本機の音量･音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- CDの倍速録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
- LINE IN端子に接続した機器の音声を録音するときは、サウンドシンクロ録音になります。サウンドシンクロ録音では、ソース(音源)の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。また、ソース(音源)の音声が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了した内蔵メモリーの空白時間は約2秒になります。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

- CDから内蔵メモリー/MD/USB接続機器への倍速録音にはHCMS(倍速録音での著作権保護)の規定があります。この規定により、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません(➡66ページ)。

内蔵メモリーまたはUSB接続機器に録音する

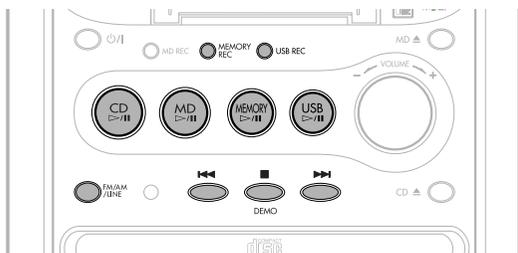
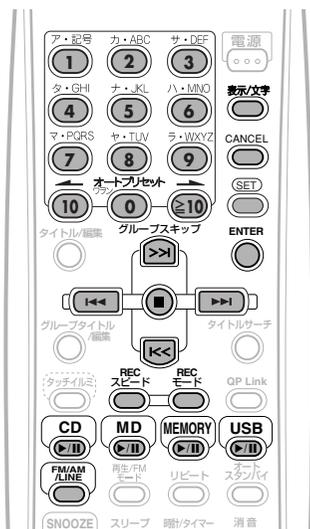
本体

リモコン

USB機器の接続（USB機器に録音するとき）

USB機器に録音するときは、あらかじめUSB端子にUSBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリーを接続します。
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

ご注意

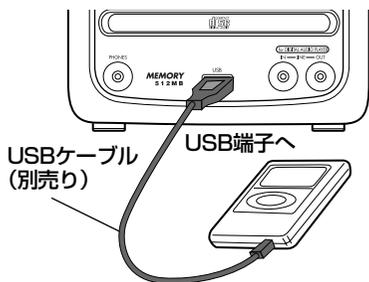
- USB接続機器は、本機またはUSB接続機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

録音残量時間を確認する

- 再生するソース（音源）にしてから、表示/文字 をくり返し押して録音残量時間を確認します（➡28ページ）。
  再生するソースがCD、MD、FM、AM、LINEのときは、設定されている録音モードで録音残量時間が表示されます。
  再生するソースがUSBまたは内蔵メモリーのときは、録音モードが「MEM/USB REC TIME SP 128」の録音残量時間が表示されます。
- 内蔵メモリーの録音残量時間が不足するときに録音しようとすると、「DATA FULL 」が表示され録音できません。録音残量時間を確認してから録音してください。

お知らせ

- 録音モードの異なる曲を混在させて録音することもできます。

ご注意

- 内蔵メモリーへの録音/編集中またはUSB接続機器への録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING（ライティング）」（書き込み中）の表示中は注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

CDを録音する

準備
- CDをCDトレイに入れる

1 CD ▶/II を押してから ■ を押す

2 REC モード をくり返し押して「MEM/USB REC TIME」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して録音モードを選ぶ

MEM/USB REC TIME SP192:
192kbpsのビットレート（1曲4分として約80曲）で録音します。
最良の音質で録音したいとき選びます。

MEM/USB REC TIME SP128:
128kbpsのビットレート（1曲4分として約125曲）で録音します。

MEM/USB REC TIME LP:
64kpbsのビットレート（1曲4分として約250曲）で録音します。

3 REC スピード をくり返し押して録音速度を選ぶ

REC SPEED NORMAL:
等速で録音します。
- 手順2で「SP 192」を選んだときは、「NORMAL」（等速）の録音速度を選んでください。
「HIGH」（倍速）を選んで手順4の操作をすると「CANNOT REC NORMAL ONLY」が表示され録音されません。

REC SPEED HIGH:
録音モードが「SP 128」のとき:
1.5倍速で録音します。
録音モードが「LP」のとき:
3倍速で録音します。

- 倍速録音中は音声を聞くことはできません。
- MP3/WMAファイルの倍速録音はできません。「HIGH」（倍速）を選んでも、等速のアナログ録音されます。

4 内蔵メモリーに録音するとき:

本体の MEMORY REC を押す

USB接続機器に録音するとき:

本体の USB REC を押す

例:内蔵メモリーに録音するとき

録音モード

CD →MEMORY MD SP HIGH GR
G 1 MUSIC ? SP HIGH

倍速録音のとき点灯

- すでにあるグループ「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）が表示されます。
録音先のグループによって、操作が異なります。

5 「録音開始の操作」（➡32ページ）の操作をする

MDを録音する

準備
- 再生するMDをMD挿入口に入れる

1 MD (▶/II) を押してから (■) を押す

2 REC モード を押して「MEM/USB REC TIME」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して録音モードを選ぶ

- 「CDを録音する」手順2参照（➡30ページ）。

3 内蔵メモリーに録音するとき:

本体の MEMORY REC を押す

USB接続機器に録音するとき:

本体の USB REC を押す

- すでにあるグループ「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）が表示されます。
録音先のグループによって、操作が異なります。

4 「録音開始の操作」（➡32ページ）の操作をする

ラジオやLINE接続機器の音声を録音する

準備

- LINE接続機器の音声を録音するときは、LINE IN端子に機器を接続する（➡26ページ）

1 **ラジオ放送のとき:**

録音する放送局を受信する

LINE接続機器のとき:

を押して「LINE」にする

2 **REC モード をくり返し押して「MEM/USB REC TIME」を選んでから、⏭または⏮を押して録音モードを選ぶ**

- 「CDを録音する」手順2参照（➡30ページ）。

3 **REC モード をくり返し押して「MEM/USB TRK INC.」を選んでから、⏭または⏮を押してトラックマークのつけかたを選ぶ**

MANUAL：録音中、SETを押したところにトラックマークがつきます（お買い上げ時の設定）。

TIME　：5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。

AUTO　：無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。SETを押してもトラックマークをつけることができます。

- トラックマークをつけたとき、前後の曲のつながりが少し途切れます。

4 **内蔵メモリーに録音するとき:**

本体の MEMORY REC を押す

USB接続機器に録音するとき:

本体の USB REC を押す

- すでにあるグループ「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）が表示されます。
録音先のグループによって、操作が異なります。

5 **「録音開始の操作」（➡下の説明）の操作をする**

録音開始の操作

グループ「G1 MUSIC」に録音するとき:

本体の MEMORY REC （内蔵メモリーへ録音）
または USB REC （USB接続機器へ録音）
を押す

- 録音が始まります。

録音先のグループを選ぶとき:

グループスキップ >>I または I<< を押して
グループを選んでから、
本体の MEMORY REC （内蔵メモリーへ録音）
または USB REC （USB接続機器へ録音）
を押す

- 録音が始まります。
- ⏭または⏮を押してもグループが選べます。

新しくグループを作成してから録音するとき:

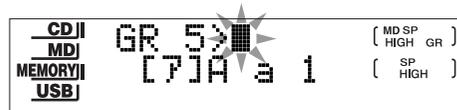
例：CDを内蔵メモリーへ録音するとき

1 **I<< を1回押して「FORM GR?」を選ぶ**

CD MD MEMORY USB　CD →MEMORY　FORM GR ?　MD SP HIGH GR　SP HIGH

2 **SET を押す**

- 新しいグループが作成され、グループタイトルを入力することもできます。「タイトルをつける」の手順2、3をご覧ください（➡43ページ）。

例：グループ4まであるときは、グループ5が自動で作成されます。

- USB接続機器に録音するときのグループ番号については、「USB接続機器のグループ番号について」（➡33ページ）もご覧ください。

3 **ENTER を押す**

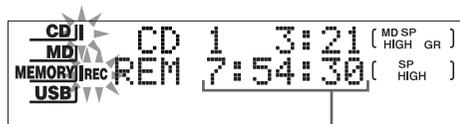
- 録音が始まります。

ボタンの位置は30ページをご覧ください。

録音が始まると

CD、MDの録音のとき

- CD、MDのときは、再生と同時に録音が始まり、再生が停止すると録音も停止します（シンクロ録音）。

録音中の表示（例:CDを録音するとき）

録音残量時間

LINEの録音のとき

- LINE接続機器のときは、録音残量時間（REM表示）が表示されたら接続した機器の再生を始めてください。音声が入力されると、録音が自動的に始まります（サウンドシンクロ録音）。
- MEMORY（USB接続機器に録音するときはUSB）を押して録音を開始することもできます。ただし、録音開始後、音声が30秒以上途切れると、録音は自動的に停止します。

- 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

CD-R/CD-RWの録音

CD-DAが収録されているCD-R/CD-RW録音するとき、本体のMEMORY REC（またはUSB REC）を押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音速度を等速「NORMAL」にし、MEMORY REC（USB接続機器に録音するときはUSB REC）を4秒以上長押しすると「ANALOG REC？」が表示されます。

「ANALOG REC？」が表示中に再度MEMORY REC（USB接続機器に録音するときはUSB REC）を押してから「**録音開始の操作**」の操作をします。
アナログ録音されます。

USB接続機器のグループ番号について

USB接続機器に録音するとき、新しくグループを作成してから録音する場合、「録音開始の操作」の「新しくグループを作成してから録音するとき：」手順2（➡32ページ）で表示されるグループ番号と実際に録音されるグループ番号が異なることがあります。正しいグループ番号は、「録音中の表示を変える」（➡42ページ）の操作で、USB接続機器で録音中のグループ番号を確認することができます。

CD/MDの途中の曲から最後の曲まで録音する

それぞれの録音操作の手順1のあとに、▶▶I または I◀◀ で曲番号を指定する

- 指定した曲から録音が始まります。

CD/MDの1曲だけを録音する

録音したい曲の再生中に、本体の MEMORY REC（USB接続機器に録音するときはUSB REC）を押してから、「録音開始の操作」（➡32ページ）をする

- 再生中の曲の頭に戻って、録音が始まります。
- あらかじめ設定されている録音モードと録音速度で録音されます。
- 録音動作が始まる前に次の曲に変わったときは、その曲が録音されます。ご注意ください。

CD/MDのプログラム録音/グループ録音

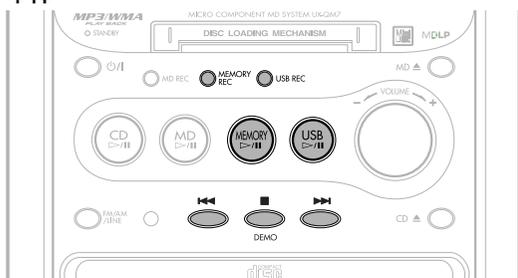
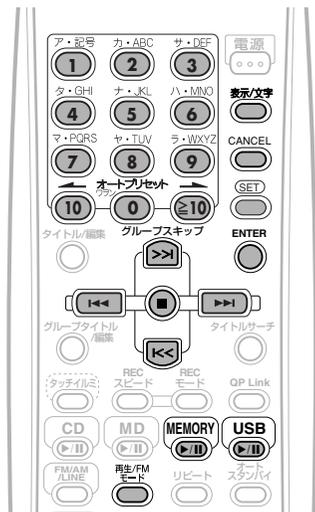
それぞれの録音操作の手順1の前に
プログラム再生（➡21ページ）
グループ再生（➡24ページ）
の操作をする

録音を停止するまたは途中でやめるとき

■ を押す

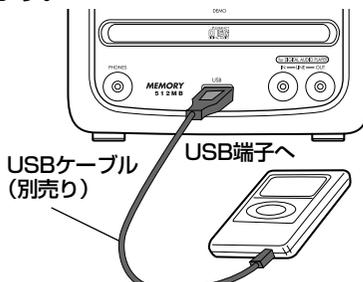
内蔵メモリー ⟷ USB接続機器の録音

- 内蔵メモリーからUSB接続機器への録音、USB接続機器から内蔵メモリーへの録音は、すべて転送になり、録音元のデータは残りません。
- 内蔵メモリーからUSB接続機器への録音、USB接続機器から内蔵メモリーへの録音では、1曲録音(転送)、グループ録音(転送)、プログラム録音(転送)ができます。
  ランダム再生のときは、「CANNOT REC MEM(またはUSB)RANDOM」、グループランダム再生のときは「CANNOT REC」が表示され、録音できません。
- 録音(転送)は高速で行われ、録音(転送)中は、音声を聞くことはできません。
- 録音(転送)中は、(■)を押しても、途中で録音(転送)を停止することはできません。

本体

リモコン

ご注意

- 内蔵メモリーへの録音/編集中またはUSB接続機器への録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING(ライティング)」(書き込み中)の表示中は注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

USB機器の接続

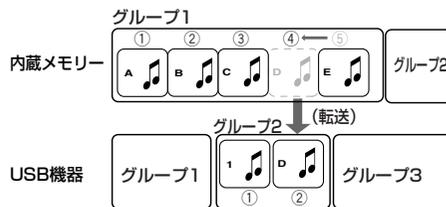
USB端子にUSBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリーを接続します。
本機の電源「入/切」に関係なく、いつでも接続できます。

USBマスストレージ規格対応
デジタルオーディオプレーヤー
またはUSBフラッシュメモリー

ご注意

- USB接続機器は、本機またはUSB接続機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

1曲録音(転送)する

- 録音先のグループが選べます。また、録音先に新たにグループを作って、その中に録音(転送)することもできます。
  録音(転送)が終わると、録音元の曲が削除(転送)され他の曲番号が繰り上がります。

例:内蔵メモリーグループ1のD曲をUSB機器のグループ2に録音(転送)すると

お知らせ

- 同じグループの1曲録音(転送)をくり返して、空になったグループは、再生時にグループ番号が表示されません。
  空のグループは、内蔵メモリーまたはUSB接続機器の「グループを削除する」(➡47ページ)の操作をして削除することができます。

ここでは、内蔵メモリーの曲をUSB接続機器に1曲録音（転送）する操作を例に説明します。USB接続機器の曲を内蔵メモリーに1曲録音（転送）するときは、（　）内のボタンに置き換えて操作してください。

1 （USB）を押してから■を押す

2 録音（転送）する曲を選ぶ

- グループスキップ ▷▷| または |◁◁ を押してグループを選んでから、▶▶| または |◀◀ を押して曲を選びます（➡21ページ）。
  曲は、数字ボタンで選ぶこともできます（➡21ページ）。

3 本体の USB REC（MEMORY REC）を押す

- 1曲録音（転送）の表示が表示されます。

4 本体の USB REC（MEMORY REC）を押す

- すでにあるグループ「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）が表示されます。
  録音先のグループによって、操作が異なります。

5

グループ「G1 MUSIC」に録音するとき：

本体の USB REC（MEMORY REC）を押す

- 録音が始まります。

録音先のグループを選ぶとき：

グループスキップ ▷▷| または |◁◁ を押してグループを選んでから、本体の USB REC（MEMORY REC）を押す

- 録音が始まります。
- ▶▶| または |◀◀ を押してもグループが選べます。

新しくグループを作成してから録音するとき：

① |◁◁ を1回押して「FORM GR?」を選ぶ

② SET を押す

- 新しいグループが作成され、グループタイトルを入力することもできます。「タイトルをつける」の手順2、3をご覧ください（➡43ページ）。

例：グループ4まであるときは、グループ5が自動で作成されます。

- USB接続機器に録音するときのグループ番号については、「USB接続機器のグループ番号について」（➡37ページ）もご覧ください。

③ ENTER を押す

- 録音が始まります。

録音が始まると

「MOVE START」と表示されてから、録音（転送）進度が表示されます。
録音（転送）進度が100%になると、「WRITING」と表示され録音（転送）が終了します。

- 録音（転送）する曲が短い場合、録音（転送）進度が表示されないことがあります。
- 録音（転送）が終了するまで時間がかかることがあります。
- 録音（転送）が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

グループ録音（転送）する

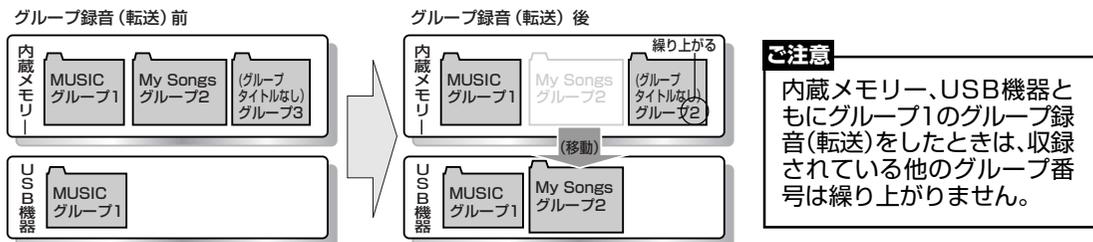
- 録音先に新たにグループが作成されます。録音先のグループを選ぶことはできません。
- 録音元のグループが削除され（転送）、収録されている他のグループ番号が繰り上がります。

例：内蔵メモリーのMy Songsグループ2をUSB機器に録音（転送）すると

グループ録音（転送）前

グループ録音（転送）後

ご注意

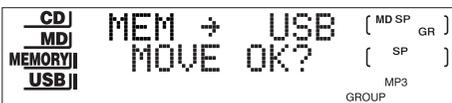
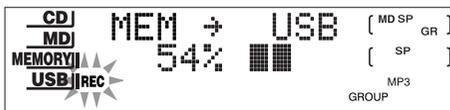
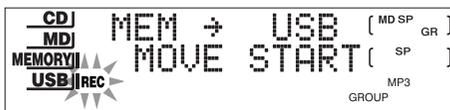
内蔵メモリー、USB機器ともにグループ1のグループ録音（転送）をしたときは、収録されている他のグループ番号は繰り上がりません。

ここでは、内蔵メモリーの曲をUSB接続機器にグループ録音（転送）する操作を例に説明します。USB接続機器の曲を内蔵メモリーにグループ録音（転送）するときは、（　）内のボタンに置き換えて操作してください。

1

2 録音（転送）するグループを選ぶ

- 再生/FMモード を押して、グループ再生を選び、グループスキップ ▶▶I または I◀◀ を押して録音（転送）するグループを選びます（➡24ページ）。

3 本体の USB REC （MEMORY REC）を押す

- グループ録音（転送）の表示が表示されます。

4 本体の USB REC （MEMORY REC）を押す

- 録音（転送）が始まります。

- 「MOVE START」と表示されてから、録音（転送）進度が表示されます。
録音（転送）進度が100%になると、「WRITING」と表示され録音（転送）が終了します。
  - 録音（転送）が終了するまで時間がかかることがあります。
  - 録音（転送）が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。
  - グループ録音（転送）が終わると、グループ再生も解除されます。

ボタンの位置は34ページ
をご覧ください。

プログラム録音（転送）する

- 録音先のグループが選べます。また、録音先に新たにグループを作って、その中に録音（転送）することもできます。
  録音（転送）が終わると、録音元の曲が削除（転送）され他の曲番号が繰り上がります。
- プログラム登録した曲順で録音（転送）されます。ただし、同じ曲が複数回登録されているときは、その曲の録音（転送）は1回になり、プログラム登録とは異なった曲順で録音（転送）されます。
  プログラム録音（転送）するときは、同じ曲が複数回登録されないように、プログラム登録してください。

お知らせ

- プログラム録音（転送）でグループが空になった場合、空になったグループは、再生時にグループ番号が表示されません。
  空のグループは、内蔵メモリーまたはUSB接続機器の「グループを削除する」（➡47ページ）の操作をして削除することができます。

ここでは、内蔵メモリーの曲をUSB接続機器にプログラム録音（転送）する操作を例に説明します。
USB接続機器の曲を内蔵メモリーにプログラム録音（転送）するときは、（　）内のボタンに置き換えて操作してください。

1 プログラムする曲を登録する（➡22ページ）

2 プログラム再生する

- プログラム登録したソース（音源）が停止中に 再生/FMモード を押します（➡22ページ）。

3 本体の USB REC （MEMORY REC）を押す

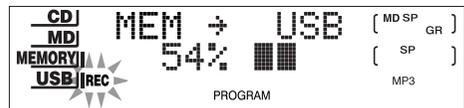
- プログラム録音（転送）の表示が表示されます。

4 本体の USB REC （MEMORY REC）を押す

- すでにあるグループ「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）が表示されます。
  録音先のグループによって、操作が異なります。

5 「1曲録音（転送）する」の手順5（➡35ページ）の操作をする

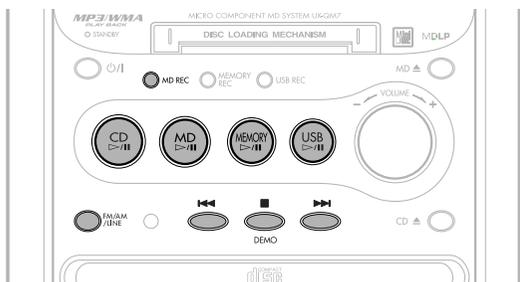
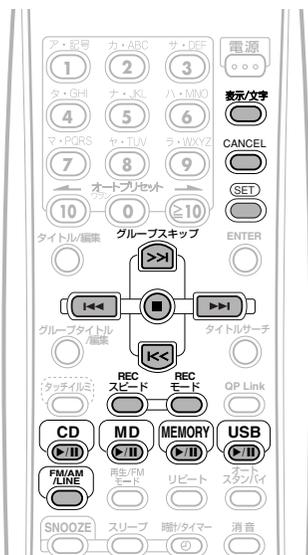
録音が始まると

「MOVE START」と表示されてから、録音（転送）進度が表示されます。
録音（転送）進度が100%になると、「WRITING」と表示され録音（転送）が終了します。

- 録音（転送）が終了するまで時間がかかることがあります。
- 録音（転送）が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。
- プログラム録音（転送）が終わると、プログラム再生も解除されます。

USB接続機器のグループ番号について

USB接続機器に録音するとき、新しくグループを作成してから録音する場合、「録音開始の操作」の「新しくグループを作成してから録音するとき：」手順5の②（➡35ページ）で表示されるグループ番号と実際に録音されるグループ番号が異なることがあります。

MDに録音する

本体

リモコン

録音残量時間を確認する

- 再生するソース(音源)にしてから、表示/文字 をくり返し押して録音残量時間を確認します(➡28ページ)。
  録音残量時間を確認するときは、MDを入れておきます。
  MDの録音残量時間は、そのときの録音に使われる録音モードに応じて異なります。

お知らせ

- 録音モードの異なる曲を混在させて録音することもできます。

ご注意

- MDへの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING(ライティング)」(書き込み中)の表示中は注意してください。MDが再生できなくなるおそれがあります。

CDを録音する

準備

- CDをCDトレイに入れる
- 録音用MDの誤消去防止つまみを閉じておく(➡63ページ)

1 CD ▷/II を押してから ■ を押す

2 MDをMD挿入口に入れる

3 REC モード を押して「MD REC TIME」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、録音モードを選ぶ

SP:標準のステレオ録音(MD80で最大80分の録音可)
LP2:2倍長時間ステレオ録音(MD80で最大160分の録音可)
LP4:4倍長時間ステレオ録音(MD80で最大320分の録音可)

- 最良の音質で録音したいとき、またはMDLPに対応してない機器で再生するときは、「SP」を選んでください。

4 REC モード をくり返し押して「MD GROUP REC」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、グループ録音の設定をする

MD GROUP REC ON:
グループとして録音します(お買い上げ時の設定)。
MD GROUP REC OFF:
グループとして録音しません。

- グループは、録音後に編集したり解除することができます(➡51～54ページ)。

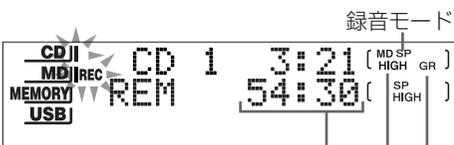
5 REC モード をくり返し押して「MD (LP:)」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、「LP:」の設定をする

MD (LP:) ON:
MDのステレオ長時間録音するとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけます。
MD (LP:) OFF:
「LP:」をつけません。

6 REC スピード をくり返し押して録音速度を選ぶ

REC SPEED NORMAL:
等速で録音します。
REC SPEED HIGH:
約5倍速で録音します。
- 倍速「HIGH」録音中は音声を聞くことはできません。
- MP3/WMAファイルの倍速録音はできません。「HIGH」(倍速)を選んでも、等速のアナログ録音されます。

7 本体の MD REC を押す

- CDの再生と同時に録音が始まります(シンクロ録音)。

- 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

CD-R/CD-RWの録音

CD-DAが収録されているCD-R/CD-RW録音するとき、本体の MD RECを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音速度を等速「NORMAL」にし、 MD RECを4秒以上長押しします。

「ANALOG REC ?」が表示中に再度 MD RECを押してアナログ録音してください。

ラジオやLINE接続機器の音声を録音する

準備
- LINE接続機器の音声を録音するときは、LINE IN端子に機器を接続する(➡26ページ)

1 ラジオ放送のとき:
録音する放送局を受信する

LINE接続機器のとき:
を押して「LINE」にする

2 MDをMD挿入口に入れる

3 REC モード を押して「MD REC TIME」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、録音モードを選ぶ

- 「CDを録音する」手順3参照(➡38ページ)。

4 REC モード をくり返し押して「MD MARKING」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、トラックマークのつけかたを選ぶ

MANUAL: 録音中、SETを押したところにトラックマークがつきます(お買い上げ時の設定)。
TIME : 5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。
AUTO : 無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
を押してもトラックマークをつけることができます。

40ページに続く

5 **REC モード をくり返し押して「MD GROUP REC」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、グループ録音の設定をする**

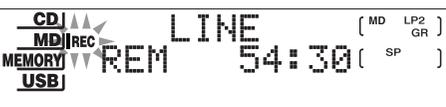
- 「CDを録音する」手順4参照(➡38ページ)。

6 **REC モード をくり返し押して「MD (LP:)」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、「LP:」の設定をする**

- 「CDを録音する」手順5参照(➡38ページ)。

7 **本体の MD REC を押す**

- 録音が始まります。

例：LINE接続機器のとき

CD MD REC MEMORY USB LINE REM 54:30 MD LP2 GR SP

- **LINE接続機器のときは、録音残量時間(REM表示)が表示されたら接続した機器の再生を始めてください。**音声が入力されると、録音が自動的に始まります(サウンドシンクロ録音)。ソース(音源)の音声が30秒以上途切れると、自動的に録音が終了します。
- MD ▶/II を押して録音を開始することもできます。ただし、この場合は、ソース(音源)の音が30秒以上途切れても録音は停止しません。

内蔵メモリー/USB接続機器の音声を録音する

停止中の曲から最後の曲まで録音します。

準備

- USB機器を接続する
- 録音用MDの誤消去防止つまみを閉じておく(➡63ページ)

1 **内蔵メモリーのとき:**

MEMORY ▶/II を押してから ■ を押す

USB接続機器のとき:

USB ▶/II を押してから ■ を押す

- 停止中に曲を選んだときは、その曲から最後の曲まで録音されます。ただしMDの録音残量時間がなくなると、録音は停止します。

2 **MDをMD挿入口に入れる**

3 **REC モード を押して「MD REC TIME」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、録音モードを選ぶ**

- 「CDを録音する」手順3参照(➡38ページ)。

4 **REC モード をくり返し押して「MD GROUP REC」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、グループ録音の設定をする**

- 「CDを録音する」手順4参照(➡38ページ)。

5 **REC モード をくり返し押して「MD (LP:)」を選んでから、▶▶I または I◀◀ を押して、「LP:」の設定をする**

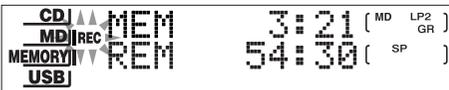
- 「CDを録音する」手順5参照(➡38ページ)。

ボタンの位置は34ページをご覧ください。

6 本体の MD REC を押す

- 内蔵メモリーまたはUSB接続機器の再生と同時に録音が始まります(シンクロ録音)。

例:内蔵メモリーのとき

CD MD REC MEMORY USB MEM 3:21 MD LP2 GR
REM 54:30 SP

- 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

録音を停止するまたは途中でやめるとき

■ を押す

CD/内蔵メモリー/USB接続機器の1曲だけを録音する

録音したい曲を再生中に、本体の MD REC を押す

- 再生中の曲の頭に戻って、録音が始まります。
- あらかじめ設定されている録音モードと録音速度で録音されます。

CDの途中の曲から最後の曲まで録音する

「CDを録音する」(➡38ページ)の手順1のあとに、▶▶| または |◀◀ で曲番号を指定し、本体の MD REC を押す

- あらかじめ設定されている録音モードと録音速度で録音されます。

CDのプログラム録音

プログラム再生(➡21ページ)の操作をしたあと、「CDを録音する」(➡38ページ)の手順1以降の操作をする

- 録音速度は等速録音(NORMAL)を選んでください(➡39ページ手順6)。倍速録音(HIGH)の録音速度を選んで手順7を行なうと「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され、録音されません。

内蔵メモリー/USB接続機器のプログラム録音

① **プログラム再生する曲を登録する(➡22ページ)**

② **「プログラム再生する」(➡22ページ)の操作をしたあと、「内蔵メモリー/USB接続機器の音声を録音する」(➡40ページ)の手順1以降の操作をする**

内蔵メモリー/USB接続機器のグループ録音

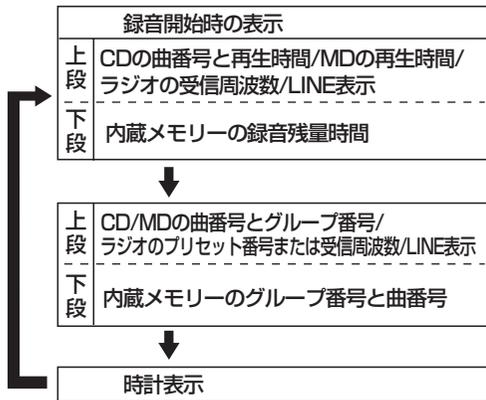
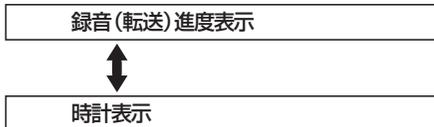
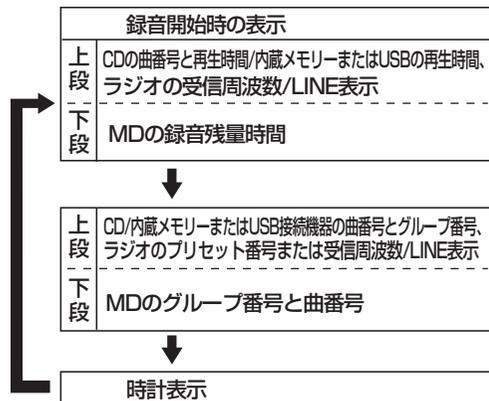
グループ再生(➡24ページ)の操作をしたあと、「内蔵メモリー/USB接続機器の音声を録音する」(➡40ページ)の手順1以降の操作をする

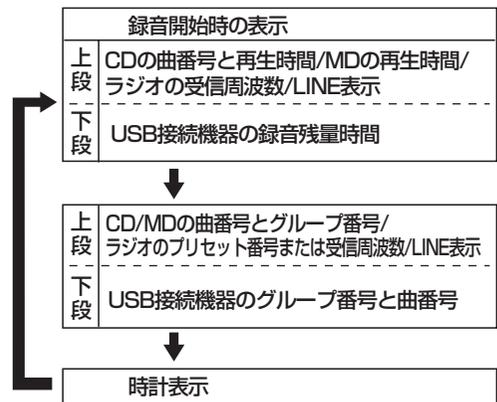
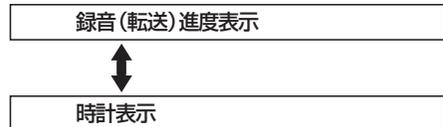
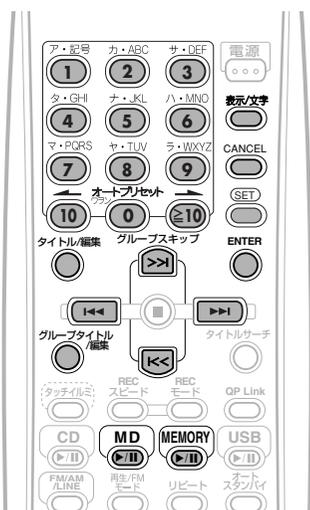
録音中の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、下記のように切換わります。

■ 内蔵メモリーに録音しているとき

CD/MD/ラジオ放送LINE接続機器の音声を録音しているとき

USB接続機器の音声を録音（転送）しているとき

■ MDに録音しているとき

■ USB接続機器に録音しているとき

CD/MD/ラジオ放送LINE接続機器の音声を録音しているとき

内蔵メモリーの音声を録音（転送）しているとき

タイトルをつける

MDにはディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
内蔵メモリーには曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

準備

MDのとき:
ソース（音源）をMDにし、MDを入れます。
内蔵メモリーのとき:
ソース（音源）を内蔵メモリーにします。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押して タイトル編集モードに切換える

■ ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

タイトル/編集 を押す

ディスクタイトル編集表示になります。

DISC TITLE?
YES?→SET

- 曲タイトルを編集するときは、▶▶I または I◀◀ を押して曲番号を選びます。
- 再生中は、曲番号が表示されます。
- MDのディスクタイトルを編集するときは、MDが停止中に I◀◀ をくり返し押して「DISC TITLE?」を選びます。

■ グループタイトルを編集するとき

グループタイトル/編集 を押す

グループタイトル編集表示になります。

- グループスキップ >>I または I<< を押してグループ番号を選びます。
- グループ分けされていないMDのときは、「GR−−」表示になります。
「FORM GR」でグループを作成してください（➡51ページ）。

2 SET を押す

- タイトル入力表示に切換わります。

曲タイトル入力のときは曲番号が、グループタイトル入力のときは「GR」とグループ番号が表示されます。

入力位置（点滅）

入力される文字の種類
現在選ばれている文字の種類（例はカタカナ）が[ ]で囲われます。
ア：カタカナ　A：英大文字・記号
a：英小文字・記号　1：数字

3 タイトルを入力する

- 入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」（➡44ページ）をご覧ください。

タイトル入力に使うボタン

表示/文字	：文字の種類を切換えます。
≧10(または10)	：入力位置を移動します。
数字ボタン(1~9,0)	：文字を入力します。
CANCEL	：入力した文字を消します。

4 ENTER を押す

終了したいとき

CANCEL を押す

続けて、次のタイトルもつけたいとき

SET を押す
手順3へ

5 MDのときは、本体のMD ⏏ を押してMDを取り出す

- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- 「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

リモコンのボタンの位置は43ページをご覧ください。

タイトル入力のしかた

例：「ス」と入力するには、

1）[表示/文字]をくり返し押して「ア」を[ ]で囲います。
- 入力文字が「カタカナ」になります。

2）[サ・DEF 3]をくり返し押して、「ス」を表示させます。
- 押すごとに「シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

タイトル入力に使える文字

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号（下記参照）	記号（下記参照）	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン゛ー゜			0

MDで入力できる「記号」の内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	−	.	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`

内蔵メモリー/USB接続機器で入力できる「記号」の内容

□スペース(空白)	!	#	$	%	&	’	(	)
+	−	.	=	@	_	`		

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字だけに入力できます。

文字の入力位置を移動するには

- [≧10]または[10]を押します。
- 「ウエ」「NO」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、[≧10]を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、[CANCEL]を押します。

スペース(空白)を入力するには

- 「記号」からスペース(空白)を選びます。
  タイトルの末尾では[≧10]を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

- [タイトル/編集]または[グループタイトル/編集]を押します。それまで入力した内容は取り消されます。

タイトル編集について

- MDでは1タイトルに61文字、内蔵メモリーでは1タイトルに64文字までつけることができます。

MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字（英数字・記号）、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース（空白）は文字と同じ量のデータを必要とします。
ステレオ長時間録音（LP2またはLP4）したときは、曲タイトルの先頭にLP:とスペース（空白4文字分）が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。
LP:はつけない設定にすることもできます（➡38ページ）。

例：
- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

お知らせ

- 最大文字数以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- 操作の途中で[CANCEL]を押すと前の手順に戻れます。

内蔵メモリーへのタイトル入力は
- 内蔵メモリーのとき、プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は、タイトル編集できますが、再生モードは解除されます。
- 「G1 MUSIC」（削除できないフォルダ）のグループタイトルは、編集できません。
- 録音中は、タイトル入力ができません。
- 曲タイトルをつけるときは、録音時につけられた「track」を削除してからタイトル入力してください。
- グループ内のすべての曲タイトルを編集しても、次のグループには進みません。[グループスキップ >>I]または[I<<]を押して、グループを選んでください。

MDへのタイトル入力は
- 再生専用MDの場合、「PLAYBACK DISC」が表示され編集できません。
- 誤消去防止状態（➡63ページ）になっているMDは編集できません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDのとき、プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は、タイトル編集できません。
- 録音中にもタイトルをつけることができます。
  - CDの録音中（1曲録音は除く）は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます（タイトルリザーブ機能）。
  - 録音が終了するまでに[ENTER]が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  - グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。
- MDに合計で1793文字以上入力しようとすると、「CANNOT TITLE」と表示され、それ以上の入力はできません。

内蔵メモリー/USB接続機器の曲とグループの編集

内蔵メモリーまたはUSB接続機器の曲とグループの編集について

ここでは、内蔵メモリーとUSB接続機器(デジタルオーディオプレーヤー)でできる編集操作について、説明します。
編集操作できるソース(音源)を下記のアイコンで表示します。

メモリー :内蔵メモリー

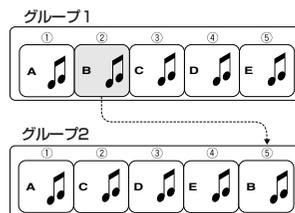
USB :USB接続機器(デジタルオーディオプレーヤー)

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- 曲番号を選ぶとき、数字ボタン(1～10、0、≧10)を押して直接選ぶこともできます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中に編集操作をおこなうと、再生モードは解除されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

ご注意

- USB接続機器は、本機またはUSB接続機器が再生中、録音中、編集中に取りはずさないでください。再生中、録音中、編集中に取りはずすと、故障や不具合の原因となります。

内蔵メモリーの曲を移動する(MOVE)

メモリー 別のグループに曲を移動します。

準備
- ソース(音源)を内蔵メモリーにします。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE?」を選んでから、SET を押す**

2 ▶▶I **または** I◀◀ **を押して移動したい曲番号を選び、SET を押す**

曲タイトル表示
2 ABC.MP3
OK?→SET

3 グループスキップ >>I **または** I<< **を押して移動先のグループを選び、SET を押す**

グループタイトル表示
G 2 NEW-1
OK?→SET

- グループタイトルがないときは、空白になります。

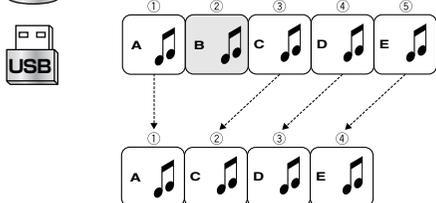
4 ▶▶I **または** I◀◀ **を押して移動先の曲番号を選び、SET を押す**

曲タイトル表示
5 123.MP3
OK?→SET

5 ENTER **を押す**

編集

曲を削除する(ERASE)

例：B曲を削除すると

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備

- **内蔵メモリーのとき：**
  ソース（音源）を内蔵メモリーにします。
- **USB接続機器のとき：**
  ソース（音源）をUSBにします。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE?」を選んでから、**

SET を押す

2 **▶▶I または I◀◀ を押して削除したい曲番号を選び、SET を押す**

- 「曲番号 曲タイトル」の後ろに「✓」がつきます。
  「✓」のついている曲が削除されます。
- 間違えたときは、CANCEL を押して「✓」を消します。
- 手順2の操作をくり返して15曲まで選ぶことができます。
  16曲目を選んで SET を押すと、「MEMORY FULL」が表示されます。

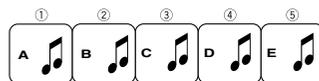
3 **ENTER を押す**

4 **本当に削除してもよければ ENTER を押す**

お知らせ

- グループ内のすべての曲を削除しても、グループは空のグループとして残ります。空のグループは録音、編集時に表示され、「グループを削除する」(➡47ページ)の操作をすると削除できます。

初期化する(FORMAT)

内蔵メモリーまたはUSB接続機器を初期化します。

初期状態

ご注意

- 内蔵メモリーを初期化すると曲がすべて削除されます。ただし、曲は削除されますが、グループ「MUSIC」は残ります。
- USB接続機器のとき、本機で「USB NO DATA」と表示されても、音楽ファイル以外のデータが収録されている場合があります。よくご確認ください。
- USB接続機器を初期化すると、本機から録音（転送）した音楽ファイルだけでなく、収録されているすべてのファイルが削除されます。
  一度初期化すると削除されたファイルは、戻すことができません。よく確認した上で操作してください。
  特に、USBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーの場合、本機で初期化することで、正しく再生できなくなる場合があります。ご注意ください。

準備

- **内蔵メモリーのとき：**
  ソース（音源）を内蔵メモリーにします。
- **USB接続機器のとき：**
  ソース（音源）をUSBにします。

1 **タイトル/編集 または グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORMAT?」を選んでから、SET を押す**

2 **ENTER を押す**

3 **SET を押す**

4 **本当に初期化してもよければ ENTER を押す**

内蔵メモリーにグループをつくる(FORM GR)

曲(トラック)を入れる器となるグループ(フォルダ)を作ります。

- 「FORM GR」で作成したグループは、曲(トラック)の入っていない空のグループです。
  空のグループは、録音または編集以外の操作で選んだり確認することはできません。
  空のグループに曲を録音(転送)、移動すると、再生時に表示されます。

準備
- ソース(音源)を内蔵メモリーにします。

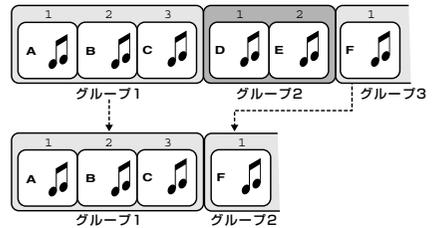
1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選んでから、SET を押す

2 作成するグループのタイトルを入力する
- 「タイトル入力のしかた」(➡44ページ)参照。

GR 5>■
[ア]A a 1

- タイトルを入力しないで、手順3の操作をすると、グループタイトルが空白のグループができます。

3 ENTER を押す

グループを削除する(ERASE GR)

グループと、そのグループ内の曲を削除します。

例: グループ2を削除すると

ご注意
- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備
- 内蔵メモリーのとき:
  ソース(音源)を内蔵メモリーにします。
- USB接続機器のとき:
  ソース(音源)をUSBにします。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GR?」を選んでから、SET を押す

2 グループスキップ >>I または I<< を押して消すグループを選ぶ

グループタイトル表示

G 2 ABC ?
ERASE?→SET

- 曲が入っていない空のグループを選ぶときは、停止中に操作します。
- グループタイトルがないときは、空白で表示されます。

3 SET を押す

4 本当に削除してもよければ ENTER を押す

お知らせ
- 「G1 MUSIC」は、削除できません。グループ内の曲だけ削除され、空のグループとして残ります。
  「G1 MUSIC」が空のときは、グループ2から表示されます。
- USB接続機器のとき、MP3、WMA、WAV形式以外のファイルが入っているグループは削除されません。
- 削除したグループに255を超える曲が入っていたとき、255曲だけ削除され、超えた分は残ります。

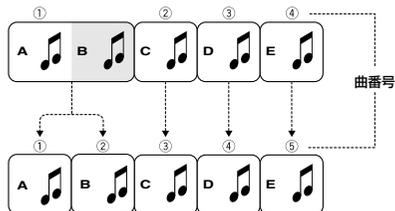
MDの曲を編集する

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。
  タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- 曲番号を選ぶとき、数字ボタン（1～10、0、≧10）を押して直接選ぶこともできます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は編集できません。
- 再生専用MDの場合、「PLAYBACK DISC」が表示され編集できません。
- 誤消去防止状態（➡63ページ）になっているMDは編集できません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

曲を2つに分ける(DIVIDE)

例：A曲とB曲に分けると

準備
- ソース（音源）をMDにします。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「DIVIDE?」を選んでから、SET を押す**
- MDが停止中は、1曲目の再生が始まります。

2 ▶▶I **または** I◀◀ **を押して分けたい曲を選ぶ**
- 再生中に ▶▶I を押したままにすると早送りできます。

3 分けたいところで SET **を押す**
- 押したところから4秒間がくり返し再生されます。

```
POSIT.    0?
  OK?→SET
```

- 希望どおりに分けられたときは、手順5に進みます。

4 ▶▶I **または** I◀◀ **押して微調節する**
- ±128ポジション(SP：標準モードで約±8秒)の範囲で分ける位置の微調節ができます。

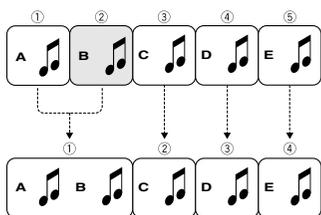
5 SET **を押す**

6 ENTER **を押す**

お知らせ

- 254曲録音してあるMDの場合、「DIVIDE？」は選べません。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲両方に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる(JOIN)

となり合う2つの曲をつなげることができます。
例: A曲にB曲をつなげると

準備	• ソース(音源)をMDにします。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN?」を選んでから、**

SET **を押す**

2 ▶▶I または I◀◀ **を押してつなぎたい曲を選ぶ**

例:1曲目と2曲目をつなげるとき

1+ 2 ?
OK?→SET

• 表示は「1+2?」「2+3?」のように変わります。1つ前の曲とつなげることができます。

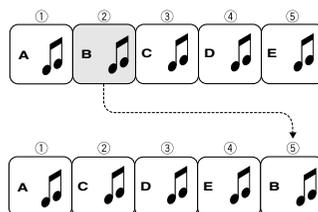
3 SET **を押す**

4 ENTER **を押す**

お知らせ

• 以下の曲はつなげません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」と表示されます(「MD/内蔵メモリー/USB接続機器の制約について」➡66ページ)。
 －MDLPモード(SP/LP2/LP4)の異なる曲
 －デジタル録音した曲(CD)とアナログ録音した曲(ラジオ放送など)
• 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

曲を移動する(MOVE)

例: B曲を移動すると

準備	• ソース(音源)をMDにします。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE?」を選んでから、**

SET **を押す**

2 ▶▶I または I◀◀ **を押して移動したい曲番号を選び、** SET **を押す**

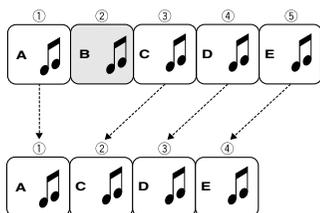
• 表示は「 ← 2 ?」「 ← 3 ?」のように変わります。

3 ▶▶I または I◀◀ **を押して移動先の曲番号を選び、** SET **を押す**

例:2曲目を5曲目に移動するとき

5← 2 ?
OK?→SET

• 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずされます。

4 ENTER **を押す**

リモコンのボタンの位置は
48ページをご覧ください。

曲を削除する(ERASE)

例：B曲を削除すると

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備
- ソース（音源）をMDにします。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ERASE?」を選んでから、SET を押す

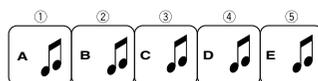
2 ▶▶I または I◀◀ を押して削除したい曲番号を選び、SET を押す

- 曲番号の前に「✓」がつきます。「✓」のついている曲が削除されます。
- 間違えたときは、CANCEL を押して「✓」を消します。
- 手順2の操作をくり返して15曲まで選ぶことができます。
  16曲目を選んで SET を押すと、「MEMORY FULL」が表示されます。

3 ENTER を押す

4 本当に削除してもよければ ENTER を押す

お知らせ
- グループ内の曲をすべて削除すると、そのグループも削除されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

全曲を消す

BLANK DISC

ご注意

- 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備
- ソース（音源）をMDにします。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選んでから、SET を押す

2 本当に削除してもよければ ENTER を押す

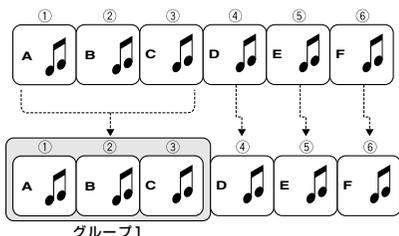
MDをグループ単位で編集する

リモコンのボタンの位置は48ページをご覧ください。

MDの曲をまとめてグループにする (FORM GR)

曲をまとめてグループにできます。グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。
最大99のグループまで管理できます。

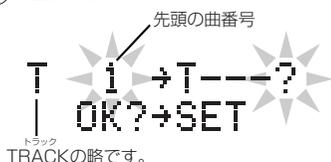
例: 曲A、B、Cをグループにまとめると

準備
- ソース(音源)をMDにします。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選んでから、SET を押す

2 ▶▶| または |◀◀ を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す

先頭の曲番号

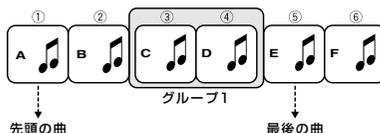
T 1 →T---?
OK?→SET

TRACKの略です。

3 ▶▶| または |◀◀ を押して新しいグループの最後の曲を選ぶ

4 SET を押す

5 ENTER を押す

お知らせ

- MDの曲をまとめてグループにする(FORM GR)のとき、すでにグループに属している曲を選ぶと、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- MDの曲をまとめてグループにする(FORM GR)のとき、先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。

- MDの曲をまとめてグループにする(FORM GR)のとき、すでに、99グループに分かれている場合は、「FORM GR」が表示されません。

グループの編集について

- 曲を最大99のグループに分けて管理することができます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は編集できません。
- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- 曲番号を選ぶとき、数字ボタン(～、0、≧10)を押して直接選ぶこともできます。
- 再生専用MDの場合、「PLAYBACK DISC」が表示され編集できません。
- 誤消去防止状態(➡63ページ)になっているMDは編集できません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

編集

グループに曲を追加する(ENTRY GR)

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。
例：グループ1に曲Fを追加すると

準備
- ソース（音源）をMDにします。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「ENTRY GR?」を選んでから、**
SET を押す

2 ▶▶I **または** I◀◀ **を押して グループに登録する曲を選び、**
SET を押す

```
TR.    6?
OK?→SET
```

3 グループスキップ >>I **または** I<< **を押して登録先のグループを選ぶ**
- 選んだグループ番号が点滅表示されます。

4 SET **を押す**

5 ENTER **を押す**

お知らせ
- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY」と表示され、次の手順に進めません。

グループを2つに分ける(DIVIDE GR)

例：グループ1を2つに分けると

準備
- ソース（音源）をMDにします。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選んでから、**
SET を押す

2 グループスキップ >>I **または** I<< **を押して 分けるグループを選んでから、** ▶▶I **または** I◀◀ **を押して どの曲から分けるかを選ぶ**

```
G  1 T    4
   OK?→SET
```

- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。

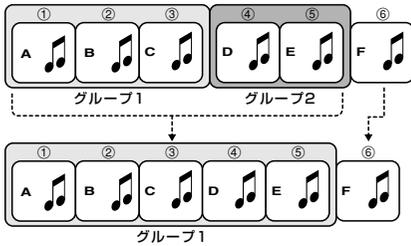
3 SET **を押す**

4 ENTER **を押す**

お知らせ
- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

リモコンのボタンの位置は
48ページをご覧ください。

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにできます。
例：グループ1、2をつなげると

準備	• ソース(音源)をMDにします。

1
グループタイトル/編集 をくり返し押して「JOIN GR?」を選んでから、

SET を押す

2
グループスキップ >>| または |<< を押してつなげるグループの組を選ぶ

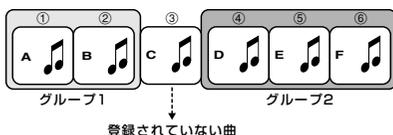
```
G 1+G 2 ?
OK?→SET
```

• 連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「－－」と表示されます。

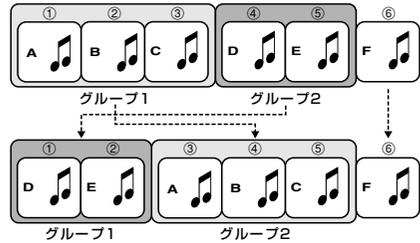
3
SET を押す

4
ENTER を押す

お知らせ

• 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。

• グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを移動する(MOVE GR)

例：グループ2を移動すると

準備	• ソース(音源)をMDにします。

1
グループタイトル/編集 をくり返し押して「MOVE GR?」を選んでから、

SET を押す

2
グループスキップ >>| または |<< を押して移動させるグループを選ぶ

```
G  ←G 2?
OK?→SET
```

3
SET を押す

4
グループスキップ >>| または |<< を押して移動先を選ぶ

```
G 1←G 2?
OK?→SET
```

5
SET を押す

6
ENTER を押す

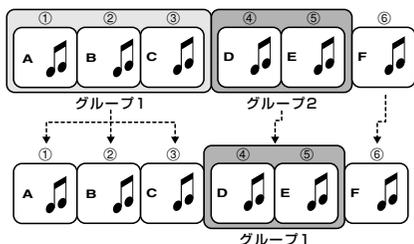
編集

リモコンのボタンの位置は48ページをご覧ください。

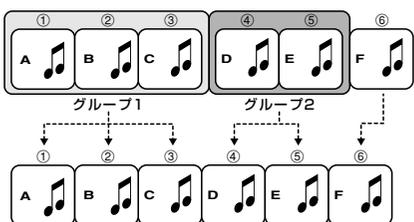
グループを解除する(UNGROUP/UNGR ALL)

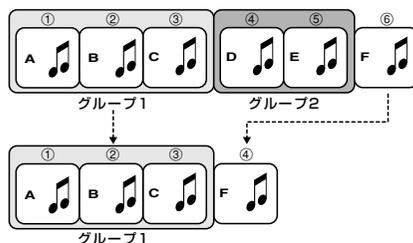
アングループ

指定したグループを解除する(UNGROUP)

例：グループ1を解除すると

準備	• ソース(音源)をMDにします。
1	グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP?」を選んでから、SET を押す
2	グループスキップ >>I または I<< を押して解除するグループを選び、SET を押す
3	ENTER を押す

全グループを一度に解除する(UNGR ALL)

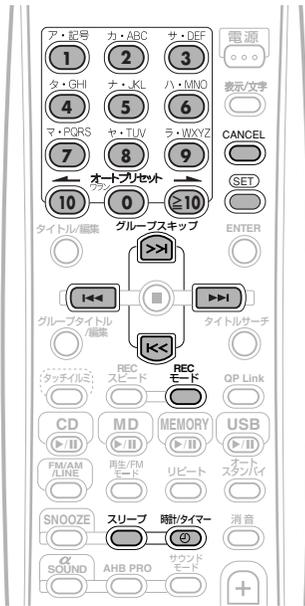
例：全グループを解除すると

準備	• ソース(音源)をMDにします。
1	グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGR ALL?」を選んでから、SET を押す • 「UNGR」は「UNGROUP」の略です。
2	ENTER を押す

グループを削除する(ERASE GR)

グループと、そのグループ内の曲を削除します。
例：グループ2を削除すると

ご注意
• 一度削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

準備	• ソース(音源)をMDにします。
1	グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GR?」を選んでから、SET を押す
2	グループスキップ >>I または I<< を押して消すグループを選ぶ G 2 ERASE? ERASE?→SET
3	SET を押す
4	本当に削除してもよければ ENTER を押す

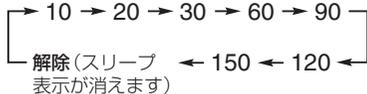
タイマーを使う

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください(➡13ページ)。

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

スリープを押す

• 押すごとに、時間(単位:分)が次のように切換わります。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 解除(スリープ表示が消えます)

お知らせ
• おやすみタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります(オートディマー機能)。
• 時間を合わせていないとき(「0:00」が点滅しているとき)、スリープを押すと「CLOCK ADJUST!」と表示されます。

設定した時間を変更するには

スリープをくり返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、スリープを1回押します。

録音タイマー

ご注意
• 複数のタイマーを動作させるときは、タイマーの終了時間と開始時間の間に6分以上間隔をあけて設定してください。

準備
• **録音したいソース(音源)の準備**
ラジオ:放送局をプリセットする
LINE接続機器:LINE IN端子に接続しタイマーの設定をする
• MDに録音するときは、録音用MDを入れます。
• USB接続機器に録音するときは、USB接続します。

1 **時計/タイマーをくり返し押して「TIMER1～TIMER3」のいずれかを選び、SETを押す**

例:TIMER 1のとき

TIMER1→ SET
OFF?→CANCEL

• 以降の手順でCANCELを押すと1つ前の設定に戻ります。

2 **▶▶I または I◀◀ と SETで開始時刻と終了時刻を設定する**

• 時刻の設定方法は、13ページをご覧ください。

3 **▶▶I または I◀◀ と SETで毎日使用か1回使用を選ぶ**

• ONCE(ワンス):1回だけ動作します。動作後、解除しても設定内容は残ります。
• WEEKLY(ウィークリー):タイマーを解除するまで毎週または毎日動作します。

56ページに続く

編集 タイマーを使う

4 ⏭ または ⏮ と SET で動作させたい曜日を選ぶ

「WEEKLY」を選んだとき：
「Sun.」（日曜日）〜「Sat.」（土曜日）、
「Mon.－Fri.」（月曜日〜金曜日）、
「Mon.－Sat.」（月曜日〜土曜日）、
「Everyday」（毎日）から選べます。

「ONCE」を選んだとき：
「Sun.」（日曜日）〜「Sat.」（土曜日）から選べます。

5 ⏭ または ⏮ と SET で「REC TIMER」（録音タイマー）を選ぶ

6 ⏭ または ⏮ と SET で録音するソース（音源）と録音先の組み合わせを選ぶ

録音するソース（音源）：
FM放送、AM放送、LINEになります。

録音先：
MD、MEM（内蔵メモリー）、USB（USB接続機器）になります。

- 録音するソース（音源）が「FM」または「AM」のとき：
  ⏭ または ⏮ で録音する放送局のプリセット番号を選んで SET を押す。
  （数字ボタンで選ぶこともできます）

7 電源「入」で設定しているとき：電源を「切」にする

- タイマーは電源「切」のとき動作します。

録音先の設定について

録音先（MD、内蔵メモリー、USB接続機器）の録音設定は、録音タイマーを設定する前または設定が終了してから行います。電源「切」で録音タイマーを設定したときは、電源「入」にしてから、録音設定の操作をしてください。

REC モード をくり返し押して録音設定項目を選び、⏭ または ⏮ を押して設定します（➡30〜32、38〜40ページ）。

録音先がMEM（内蔵メモリー）またはUSB（USB接続機器）ときのグループについて

録音先が内蔵メモリーまたはUSB接続機器のとき、自動でグループ「TIMER」が作られ、その中に録音されます。
録音先のグループを選んだり、新たに作成することはできません。
録音タイマーが終了後に、編集操作で移動などしてください。

録音タイマーを解除するには

時計/タイマー をくり返し押して解除したいタイマー番号を選び、CANCEL を押す

- タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

時計/タイマー をくり返し押して再設定したいタイマー番号を選び、ENTER を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「切」にします。

お知らせ

- 手順6で録音するソース（音源）が「LINE」のとき、QP Link機能をオフにしてください。
- タイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 録音タイマーで録音中の音量は、「0」に設定されているので音は出ません。音を聞きたいときは、音量を調節してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

再生タイマー

ご注意

- 複数のタイマーを動作させるときは、タイマーの終了時間と開始時間の間に6分以上間隔をあけて設定してください。

準備

- 再生したいソース(音源)の準備

CD	：CDを入れる
MD	：MDを入れる
ラジオ	：放送局をプリセットする
他の機器	：LINE IN端子に接続しタイマーの設定をする
USB	：USB端子に接続する

1 **「録音タイマー」(➡55ページ)の手順1～4を行う**

2 **▶▶I(または I◀◀)と SET で「PLAY TIMER」(再生タイマー)を選ぶ**

3 **▶▶I(または I◀◀)と SET で再生するソース(音源)を選ぶ**

「FM」、「AM」を選んだとき:

▶▶I または I◀◀で受信する放送局のプリセット番号を選んでSETを押す。(数字ボタンで選ぶこともできます)

「CD」を選んだとき:

音楽CDのときは、グループを選ばずにSETを押してから▶▶I または I◀◀で再生を開始する曲番号を選んでSETを押す。

CDのMP3/WMAファイルのときは、▶▶I または I◀◀でグループ番号を選んでからSETを押し、同様に曲番号を選んでからSETを押します。

「MD」を選んだとき:

▶▶I または I◀◀で再生を開始する曲番号を選んでSETを押す。

「MEMORY」、「USB」を選んだとき:

▶▶I または I◀◀でグループ番号を選んでからSETを押し、同様に曲番号を選んでからSETを押します。

4 **▶▶I(または I◀◀)と SET で再生する音量を調節する**

- 数字ボタンを使って音量を調節することもできます。

5 **電源「入」で設定しているとき:**
電源を「切」にする

- タイマーは電源「切」のとき動作します。

再生タイマーを解除するには

時計/タイマー をくり返し押して解除したいタイマー番号を選び、CANCEL を押す

- タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

同じ内容で再設定するには

時計/タイマー をくり返し押して再設定したいタイマー番号を選び、ENTER を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「切」にします。

お知らせ

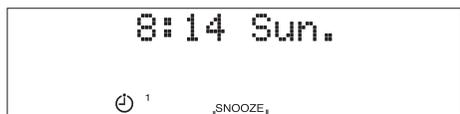
- 再生タイマーが動作を始めるとき、設定した音量まで除々に大きくなります(ウェイクアップボリューム機能)。
- 手順3で再生するソース(音源)に「LINE」を選んだときは、QP Link機能をオフにしてください。
- 手順3で再生するソース(音源)が「CD」で音楽CDのとき、グループ番号を選んで設定を進めても、音楽CDにはグループが無いためグループ番号は無効になり、選んだ曲番号の曲から再生が始まります。
- タイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

スヌーズ機能を使う

スヌーズ(SNOOZE)機能をオンにすると、タイマー再生中に本体のTouch illumination/Snoozeにふれて、一時的に消音することができます。
目覚ましタイマーとして使用するときなどに便利です。

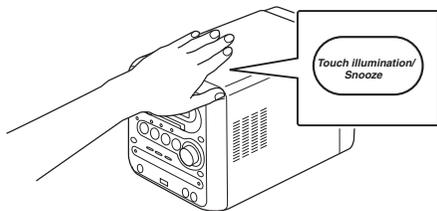
スヌーズ機能をオン／オフする

を押す

- 押すごとにオンとオフに切換わります。

オンにすると点灯、
動作中は点滅します。

スヌーズ機能を使う

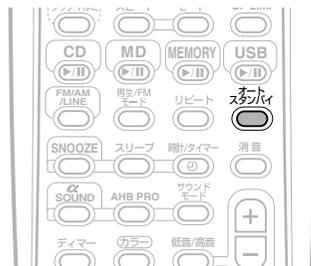
タイマー再生中に、本体のTouch illumination/Snoozeにふれます。

- スヌーズ機能を使うときは、「タッチイルミネーションの設定」(➡15ページ)をあらかじめ「**タッチイルミ ON**」にしてください。

5分間消音し、表示窓が時計表示に変わります。
5分経過すると、タイマー再生設定時の音量に戻ります。

お知らせ

- タイマー再生のソース(音源)がCDでスヌーズ機能を使うときは、収録時間が20分以上のCDをお使いください。

オートスタンバイ

ラジオ(FM/AM)以外のソース(音源)のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「切」になります。

■ ソース(音源)がFM/AM以外のときに

オートスタンバイを押す

- 表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY表示が点灯します。

オートスタンバイの動作

CD、MD、内蔵メモリー、USB接続機器を再生しているときや、録音しているとき:

再生または録音が終了すると、オートスタンバイが動作(A.STANDBY表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイが動作します。

デジタルオーディオプレーヤーの音声を聞いているとき:

無音状態になるとオートスタンバイが動作(A.STANDBY表示が点滅)し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると
「A. STANDBY OFF」表示が点滅します。

解除するには

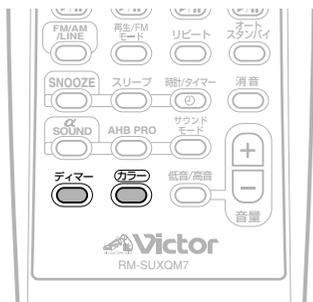
オートスタンバイをもう一度押します。

お知らせ

- 音量(ボリューム)を「**0**」にした状態はオートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。
- LINE IN端子に接続した、デジタルオーディオプレーヤーの音声を聞いているとき、入力される音声信号レベルが小さいと、オートスタンバイ機能が働いて、音が聞こえていても電源が「**切**」になる場合があります。

ディマー

表示窓とCDトレイおよびソース（音源）ボタンの照明の明るさを変えることができます。

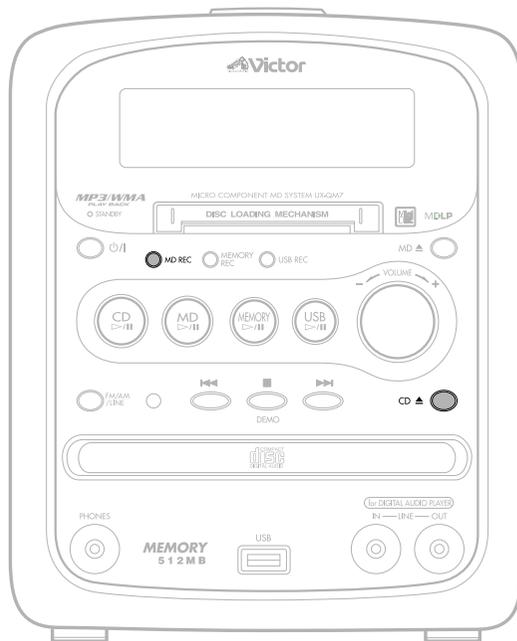
ディマー ボタンを押す

- 押すごとに、次のように切換わります。

DIMMER 1	：カラーパターン（➡15ページ）はそのまま、やや暗くなります。
DIMMER 2	：さらに暗くなり、青色になります。
DIMMER 3	：表示窓とCDトレイは消灯し、ソース（音源）ボタンだけが点灯します。
DIMMER OFF	：ディマー解除（お買い上げ時の状態）。

お知らせ

- カラーパターンを変更すると（カラー を押すと）、ディマーは解除されます。
- 「DIMMER OFF」のとき、本体の再生ボタンを押すと、再生ボタンの周りが3回点滅します。

チャイルドロック

CDやMDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

■ 電源「切」のとき

本体の MD REC を押したまま CD ▲ を押す

LOCKED

チャイルドロックすると、電源「**入**/**切**」にかかわらず CD ▲ または MD ▲ を押しても、「**LOCKED**」と表示され、CDやMDを取り出せなくなります。電源「**切**」のときに CD ▲ または MD ▲ を押すと「**LOCKED**」が表示されますが、電源は入りません。

解除するには

■ 電源「切」のとき
もう一度、上記の操作をします。

UNLOCKED

便利な機能

ディスクとファイルについて

CDのマークを確認してください

文字のある面に、COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

本機で再生できるディスクについて

本機のCDプレーヤーでは、COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークが付いている音楽CD以外に、MP3/WMAファイルが収録されているCD-R/CD-RWの再生ができます。

- ディスクの特性･記録状態･傷･汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ･結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。

再生できるファイルについて

本機では、CD-R/CD-RW上にあるMP3/WMAファイルの再生ができます。

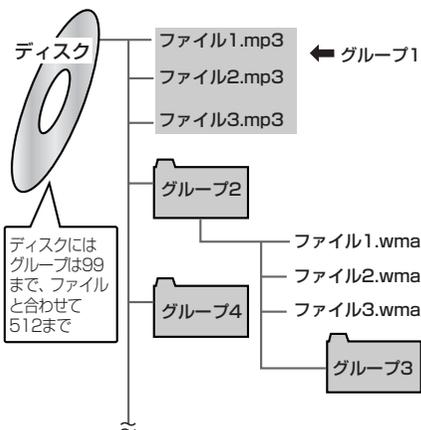
- **MP3/WMAファイル**
  「.MP3」「.mp3」「.WMA」「.wma」の正しい拡張子が付いているファイルが再生できます。
  – タグ情報(ID3-Tag、WMA-Tag)に対応しています。タグ情報は表示窓に表示されます。
    - ファイル名やグループ名に半角英数字または半角カタカナ以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
  – MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。
- ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。
- WMA-DRMには対応していません。

- WMA (Windows Media Audio) Microsoft, Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

ファイル/フォルダ(グループ)について

本書ではフォルダを「グループ」と呼んでいます。

本機が1枚のCD-R/CD-RWで認識、再生できるファイル数とグループ数は、次のようになります。

- グループ数、ファイル数合わせて512まで認識できます。ただし、ディスクにファイルだけ収録されているときは、ディスク自体が一つのグループと数えられるため、ファイルは511までになります。
- 最大グループ数は99グループまで
  – 再生できないファイルは数えません。
  – 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダも１つのグループとして数えられます。
  – 再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはグループ1として扱われます。

ディスク作成時の注意

CD-R/CD-RWディスクを作成するときは、次のことに注意してください。

- **ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
- **パケットライト方式(UDFフォーマット)は使わない**
- **必ずファイナライズする**

ファイル作成時の注意

ファイル/グループを作成するときは、次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける(大文字小文字の混在も可)**
  MP3ファイル　「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル　「.WMA」「.wma」
- **ファイル/グループ名には半角英数字または半角カタカナを使用する**

内蔵メモリーとUSB接続機器について

本機で再生できるファイルについて

本機では、MP3/WMA/WAVファイルの再生ができます。

- **MP3/WMA/WAVファイル**
  「.MP3」「.mp3」「.WMA」「.wma」「.WAV」「.wav」の正しい拡張子が付いているファイルが再生できます。
  - ファイル名やグループ名に半角英数字または半角カタカナ以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
  - MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。
- USB接続機器の場合、読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- USB接続機器の特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。
- USBカードリーダー、USBハブには、対応していません。
- デジタルオーディオプレーヤーでボイス録音したADPCM方式のWAVファイルには、対応していません。
- WMA-DRMには対応していません。

ファイル作成時の注意

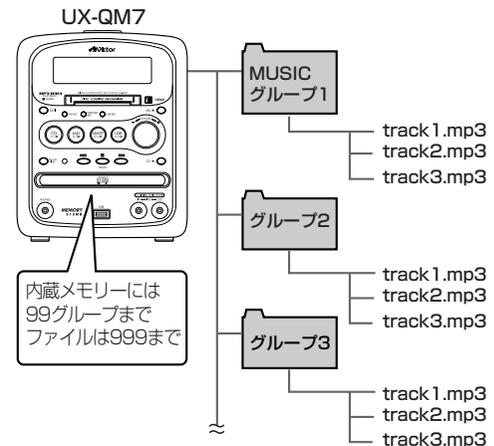
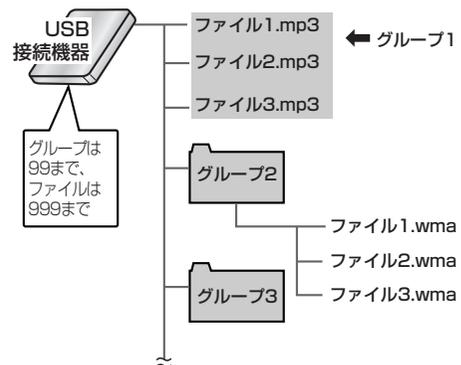
ファイル/グループを作成するときは、次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける(大文字小文字の混在も可)**
  MP3ファイル　「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル　「.WMA」「.wma」
  WAVファイル　「.WAV」「.wav」
- **ファイル/グループ名には半角英数字または半角カタカナを使用する**

ファイル/フォルダ(グループ)について

本書ではフォルダを「グループ」と呼んでいます。本機が内蔵メモリーまたはUSB接続機器で認識できるファイル数とグループ数は、次のようになります。

- 999トラックまで認識できます。ただし、1つのグループの最大ファイル数は、255です。
- 最大グループ数は99グループまで
  - 再生できないファイルは数えません。
  - 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダも１つのグループとして数えられます。
  - 収録されているファイルの曲タイトルやグループタイトルの長さによっては、1つのグループの最大ファイル数が255未満になったり、最大グループ数が99未満になる場合もあります。
  - USB接続機器の場合、再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはグループ1として扱われます。

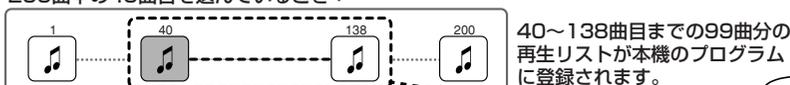
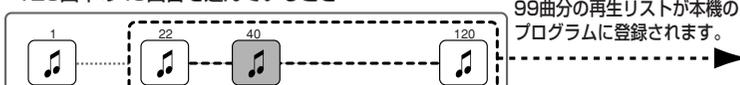
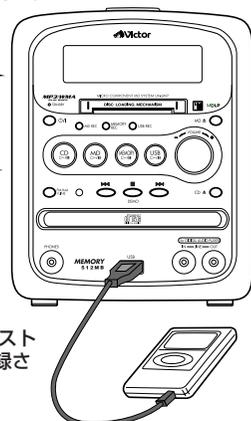
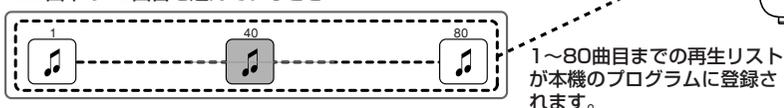
内蔵メモリーのとき:

USB接続機器のとき:

XA-C109またはXA-C59をUSB接続すると

当社製デジタルオーディオプレーヤー（別売り）のXA-C109またはXA-C59（以下XA-C109/C59）を本機のUSB端子に接続すると、次のことができます。

- XA-C109/C59に収録されている音楽ファイルを本機で再生することができます。
- 本機からXA-C109/C59に録音（転送）した曲を、XA-C109/C59で再生することができます。
- XA-C109/C59の再生情報（再生リストおよびリピートモード）が自動で本機に取り込まれます。
  再生リストは、99曲までをプログラム登録するかたちで本機に取り込まれます。このとき、本機で再生を始めるとプログラム再生モードで、XA-C109/C59で再生していた曲、または停止した曲から始まります。
  再生リストとリピートモードの詳細については、下の説明をご覧ください。

再生リストについて

XA-C109/C59で再生していた曲、または停止した曲を含めて99曲まで自動で本機にプログラム登録されます。プログラム登録される例は、下の図のようになります。

- 下の図の場合、再生を始めると、いずれも40曲目からのプログラム再生になります。

XA-C109/C59

- 本機でプログラムを解除して通常の再生をするには、「プログラム再生を解除するには」（➡22ページ）をご覧ください。
- 本機からXA-C109/C59への録音（転送）がおこなわれると、自動でプログラム登録された内容は消去されます。

リピートモードについて

XA-C109/C59で設定されているリピートモードが、本機に取り込まれ本機表示窓のリピート表示がリピートモードに合わせて表示されます。リピートモードは本機で変更できます（➡24ページ）。
ただし、XA-C109/C59のリピートモードが「A-Bリピート」のときは、取り込まれません。

接続をはずすとき

本機にUSB接続したXA-C109/C59をはずすときは、次の手順ではずしてください。

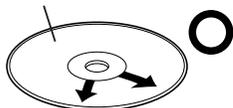
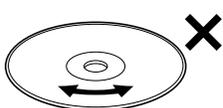
1. **本機のソース（音源）をUSBにして停止状態にする**
2. **本機の■（DEMO）（リモコンのときは■）を、「PLEASE WAIT」と表示されるまで長押しする**
3. **「DISCONNECT OK」と本機の表示窓に表示されてから、USBケーブルをはずす**
   - USBケーブルをはずすと、プログラム再生、ランダム再生、グループランダム再生、グループ再生の再生モードとリピートモードは解除されます。
   - プログラム再生モードのときにXA-C109/C59をはずすと、本機で行ったプログラム情報がXA-C109/C59に保持されます。次回接続したとき、保持されたプログラム情報が自動で取り込まれます。
   - はずされたXA-C109/C59を再生すると、本機で再生を停止した場所から再生が始まります。
   - 本機からXA-C109/C59への録音（転送）をしたあとは、上記の操作をしても「PLEASE WAIT」と表示されません。上記の操作をしないで、本機が停止中にXA-C109/C59をはずしてください。

CD、MDの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

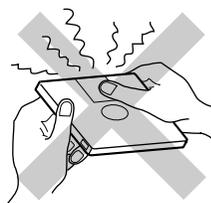
- CDにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

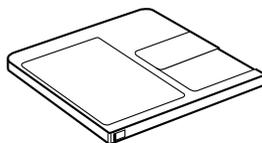
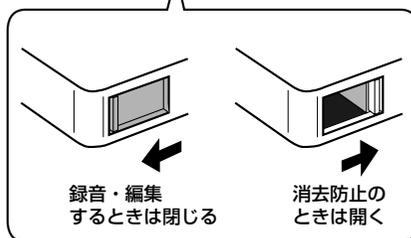
CDのお手入れ

信号面

内側から外側へ柔らかい布でふく

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDの取り扱いかた

- **シャッターは開けないで**
  無理に開けようとするとディスクがこわれます。

大切な録音を消さないために

- MDには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。

お知らせ

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に貼らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。

MD/CD/その他のメッセージ

MDのメッセージ	意味	処置
CANNOT ENTRY	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡52ページ)。
CANNOT FORM	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(➡51ページ)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている(グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)。	それ以上のグループは作れません(不要なディスク名や曲名は消してください)。
CANNOT JOIN	MDのシステム上の制約です。	「MD/内蔵メモリー/USB接続機器の制約について」(➡66ページ)をご覧ください。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上の文字は入力できません。
READ ERROR	MDの情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときはＭＤの異常(損傷)が考えられます。MDを交換してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください(➡66ページ)。
DISC PROTECTED	ＭＤが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	ＭＤの誤消去防止つまみを閉じてください(➡63ページ)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	(停止)を押していったん停止してから、MD▲(取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡51ページ)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	アナログ録音してください(➡39ページ)。
TRACK PROTECTED	Net MDのフォーマットで音楽データが記録された(チェックアウト)曲をDIVIDE、JOINまたは消去をしようとした。	Net MDに対応した機器で操作してください。
	本機以外の機器によって、その曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つか、または等速録音にしてください。
BLANK DISC	未録音のディスクです。	–

CDのメッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	再生できないCDまたは傷の多いCDを再生しようとした。	CDを交換してください。
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。
	CDが裏返しに入っている。	CDを正しく入れてください。
	再生できないCDまたは傷の多いCDを再生しようとした。	CDを交換してください。

内蔵メモリー/USB のメッセージ	意味	処置
DATA FULL	内蔵メモリーまたはUSB接続機器に空き容量がない。	曲を削除する。 他のUSB機器に変える。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	USB接続機器を書き込み可能な状態にする。
SAME TITLE EXIT	録音先に同名のグループがある。	違う名前にする。
TRACK FULL	1つのグループに255以上トラックがある。またはトラックが999以上ある。	曲を削除する。 他のUSB機器に変える。
GROUP FULL	グループ数が99を超えている。	グループは99まで作ることができます。
CANNOT FORM GROUP	グループが作成できない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
CANNOT MOVE	曲の移動ができない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	USB接続機器を書き込み可能な状態にする。
CANNOT REC NORMAL ONLY	倍速録音ができない。	等速録音してください。
CANNOT ERASE	曲の削除ができない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	USB接続機器を書き込み可能な状態にする。
CANNOT TITLE	タイトル編集ができない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
DEVICE ERR.	本機では、再生/ 録音ができないUＳＢ機器です。	別のUSB機器に変える。 • 本機でフォーマット(初期化)をすると、再生/録音ができるようになることもあります。ただし、フォーマット(初期化)すると全データが消去されます(➡46ページ)。
FORMAT ERROR	フォーマット(初期化)できない(データが壊れている可能性がある)。	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	USB接続機器を書き込み可能な状態にする。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から7４分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つか、または等速録音してください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	アナログ録音してください(➡33ページ)。
TRACK PROTECTED	本機以外の機器によって、その曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
MEM NO DATA	内蔵メモリーに何も録音されていません。	録音してください。
USB NO DATA	USB接続機器に音楽ファイルが入っていません(音楽ファイル以外のデータが入っている可能性はあります)。	確認してください。
NO USB	USB機器が接続されていない。	USB機器を接続してください。

MD/内蔵メモリー/USB接続機器の制約について

MDは、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。（録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて時間の短い部分（SP：8秒以下、LP2：16秒以下、LP4：32秒以下）の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音(MDLP)モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。デジタル録音した曲とアナログ録音した曲も「JOIN」でつなげることはできません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。 早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、ＭＤに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でもSPモードで12秒、LP2で24秒、LP4で48秒の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたＭＤは、実際に録音できる時間は、短くなります。

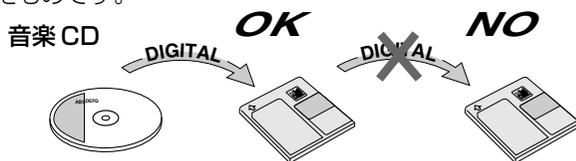
SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル　コピー　マネージメント　システム）

CDのクリアな音を他のデジタル機器（MD、内蔵メモリー、USBなど）にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意

- この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。
- デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、アナログ録音してください(➡33、39ページ)。

倍速録音に関して（HCMS）

MD、内蔵メモリーおよびUSB接続機器は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。

本機では、CDから一度倍速録音（等速を超える録音）した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません。

例えば、ＣＤの１曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから７４分間は、そのＣＤの１曲目を再びＭＤに倍速で録音することはできません。また、ＣＤから倍速録音をする場合、録音開始から７４分以内に合計で100曲まで録音することができます。

故障かな?と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページを参照し、正しく接続し直す。	11
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	8
時刻表示が点滅している。	停電があった。または電源コードを抜いた。	時計を合わせ直す。	13
CD/MDの再生が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字のある面を上にして入れる。	18
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1 ～2 時間待ち、乾いてから使う。	7
特定の箇所が正常に再生できない。	CDに傷や汚れがある。	CDをクリーニングするか、または交換する。	63
	MDにエラーが発生した。	MDを録音し直す。	38
MDの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	63
放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続する。	10
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	7
タイマーが働かない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。	13
	電源が「入」になっている。	タイマー設定後、電源を「**切**」にする。	56,57
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する。	7

●上記の処置をしても正しく動作しないときは…
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

● 本機の故障または不測の事態により、録音·再生およびCD/MD/内蔵メモリーの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日·販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(➡69ページ)をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

67ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

項目	内容
品　　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　　名	UX-QM7-S、UX-QM7-W
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修　理　料　金　の　仕　組　み

項目	内容
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

項目	内容
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

項目	内容
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。
- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0706

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
　S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

■ MD/CDレシーバー
（CA-UXQM7-S/CA-UXQM7-W）

アンプ部

実用最大出力	20 W × 2 ch (THD10%/4Ω)
入力端子 <アナログ>	LINE IN×1 500 mV/47 kΩ：LEVEL1 250 mV/47 kΩ：LEVEL2 125 mV/47 kΩ：LEVEL3
出力端子 <アナログ>	スピーカー×1系統、20 W/4 Ω 適合インピーダンス 4 Ω～16 Ω ヘッドホン(×1)、5 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω～1 kΩ LINE OUT×1 500 mV/47 kΩ

チューナー部

受信周波数	FM：76.00 MHz～108.00 MHz (0.05 MHzステップ) AM：531 kHz～1,629 kHz (9 kHzステップ)
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	3プログラム動作（ONCE/WEEKLY切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分(オートディマー機能)
時刻表示	24時間表示

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
録音/再生時間 (MD80使用)	録音モード(MDLP)SP ：80分 録音モード(MDLP)LP2：160分 録音モード(MDLP)LP4：320分
サンプリング周波数	44.1 kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

内蔵メモリー部

形式	フラッシュメモリー
容量	512 MB
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV（リニアPCM）
音声圧縮録音方式	MP3
ビットレート	録音時のモードSP192： 192 kbpsのビットレート （1曲4分として約80曲） 録音時のモードSP128： 128 kbpsのビットレート （1曲4分として約125曲） 録音時のモードLP： 64 kbpsのビットレート （1曲4分として約250曲）

USB部

USB端子	USB Ver. 1.1
形式	USBマスストレージクラス規格
ファイルシステム	FAT/FAT32（NTFSには対応していません）
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV
音声圧縮録音方式	MP3
USB出力電源	5 V/500 mA

共通部

電源電圧	AC 100 V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源「入」時 60 W 電源「待機（タッチイルミON、QP Link ON）」時 10 W 電源「待機（タッチイルミOFF、QP Link OFF）」時 0.9 W
最大外形寸法	幅165 mm × 高さ204 mm × 奥行328.5 mm
質量	約 4.6 kg

■ スピーカー：1本当たり
（SP-UXQM7-S/SP-UXQM7-W）

形式	3ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用：11 cmコーンスピーカー ×1 中音用：4 cmコーンスピーカー ×1 高音用：1.5 cmドームスピーカー×1
最大入力	20 W（JIS）
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	56 Hz～40 kHz
出力音圧レベル	84 dB/W・m
最大外形寸法	幅 135 mm × 高さ 200.5 mm × 奥行 215 mm
質量	約 1.9 kg（1本）

■ マイクロコンポーネントMDシステム
（UX-QM7-S/UX-QM7-W）

総　合

最大外形寸法	幅 435 mm × 高さ 204 mm × 奥行328.5 mm
質量	約 8.4 kg

- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

再生対応フォーマット*1

CD-R/CD-RW

MP3：	8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR
WMA：	32 kbps～192 kbps

内蔵メモリー/USB

MP3：	8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR
WMA：	8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR
WAV：	16 bit、リニアPCM、 8 kHz～48 kHz

*1 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR：可変ビットレート

索 引

英数字

ア

カ

サ

タ

ハ

ラ

別売りのオプション品

- ステレオミニプラグコード　　：CN-203A
- CD レンズクリーナー　　：CL-CDLA
- MD レンズクリーナー　　：CL-MLA
- アンテナコネクター　　：VZ-71A（300 Ω /75 Ω対応）
- アンテナコード　　：VX-22A
- FM フィーダーアンテナ　　：CN-511A（300 Ω対応）
（アンテナコネクター：VZ-71A と一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
http://www.victor.co.jp/reg/audio/

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
69ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045)450-8950 FAX　(045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについては、68ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0806TNMNATJEM